

第3章

學習編

授業等

授業科目

授業科目は講義、演習、実験、実習、実技などに区分され、それぞれ授業時間や単位数が異なります。また、卒業のために必ず取得しなければならない「必修科目」や一定の科目群の中から選択して単位を取得しなければならない「選択科目」などがあります。授業科目の種類及び単位数などについては教育課程表（37ページ～68ページ）を参照してください。

授業時間

日々の授業は次の時間に行われます。

1 時限	9:00	～	10:30
2 時限	10:40	～	12:10
3 時限	13:00	～	14:30
4 時限	14:40	～	16:10
5 時限	16:20	～	17:50
6 時限	18:00	～	19:30

注) 6時限は補講用で、通常の授業は行いません。

開講区分

本学は2学期制（セメスター制）と各期をさらに半分に分けた4学期制（クォーター制）（P.31参照）を併用して授業を開講しており、授業科目は開講区分により、次のように分けられます。

通年科目	年間を通して開講
前期科目	前期半年間に開講
第1ターム科目	前期半年間の前半に開講
第2ターム科目	前期半年間の後半に開講
後期科目	後期半年間に開講
第3ターム科目	後期半年間の前半に開講
第4ターム科目	後期半年間の後半に開講
集中講義科目 ※	特定の期間に集中して開講

※ 基本的には、前期又は後期に開講する授業科目ですが、諸般の理由により集中開講となるものです。

単位

それぞれの授業科目には単位数が決められています。

1単位を修得するためには、教室内での授業等の時間及び教室外での自主的な学修時間、合わせて45時間の学修をする必要があります。なお、45時間のカウントについては、講義、演習、実験、実習、実技によって原則的に次のようになっています。

区 分	大学の授業での学修時間	授業時間外の自主的な学修時間	合 計
講 義	15 時間	30 時間	45 時間
演 習	30 時間	15 時間	45 時間
実 験 実 習 実 技	30～45 時間	0～15 時間	45 時間

休講・補講・教室変更

休講・補講・教室変更がある場合には、その都度、学内のデジタルサイネージ（電子掲示板）に掲載します。また、「いちぼる」でも情報を得ることができます。学外からアクセスするには「おうちhinet（VPN接続サービス）」の設定が必要です（P.24参照）。

自然災害や交通機関の運休時の授業

暴風雨などの自然災害やストライキ等によって公共交通機関の運行に支障が生じたり、その恐れがある場合は状況に応じて授業を休講とする場合があります。その取扱いは次のとおりとします。

- 授業の実施が困難な場合の判断基準
 - 広島地方気象台から広島市に暴風警報、暴風雪警報又は気象等に関する特別警報のいずれかが発表された場合
 - 暴風雨などの自然災害やストライキ等により、アストラムライン及び高速4号線を通過する広島電鉄バスの双方が全面的に運行停止となった場合
- 休講等の取扱い
 - 授業開始後に上記1のいずれかの事由が発生した場合は、その後に開始される授業を休講にします。
 - 授業開始前に上記1のいずれかの事由が発生している場合は、発生した時間により次のとおり休講とします。
 - 午前7時の段階で上記1の事由が発生している場合は、午前中の授業は休講
 - 午前10時の段階で上記1の事由が継続している場合は、午後の授業もすべて休講
- その他

上記1の判断基準に該当しない自然災害（地震など）が発生した場合の休講等についてはその都度お知らせします。

講義等を欠席する場合の手続き

病気やケガによる入院等、やむを得ない事情により講義等を欠席する場合は、その講義等の担当教員まで申し出てください。なお、感染症にかかった場合はP.93を参照してください。

履修

履修科目

各学年の前期及び後期に、その期に履修（受講）しようとする授業科目を登録（履修登録）しなければなりません。

履修する科目については、教育課程表（本冊子37ページ～68ページ）、時間割表、Webシラバス等を確認のうえ、適切に決定してください。

※ ナンバリングについて

本学では、授業科目のナンバリングを導入しています。

LEDU	101
↑	↑
科目分類	難易度
100番代（学部入門／初級科目）	
200番代（学部中級科目）	
300番代（学部上級科目）	
400番代（学部最終年次科目）	
500番代（大学院初級科目）	
600番代（大学院中級科目）	
700・800番代（大学院上級科目）	

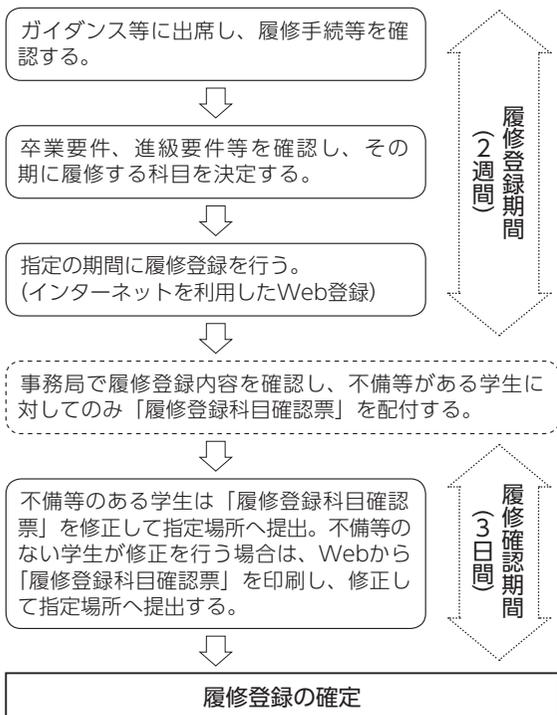
授業科目のナンバリングについてはWebシラバスに掲載しています。

履修登録

履修登録は、単位を修得するための必須の手続きであり、これを怠ったり誤ったりすると単位が認定されません。

各学期の初めに履修登録期間を設けていますので、この間に必ず履修登録を行ってください。

履修登録の流れ



履修登録確定後は、新たな登録はできず、必修科目等の登録漏れがあった場合には、進級や卒業ができなくなることもあります。

こうした事にならないよう、必ずしっかりと履修科目の確認を行ってください。

履修の禁止

次に掲げる授業科目は履修することができません。

- ◆ 履修登録をしていない授業科目
- ◆ 既に単位を修得した科目

履修登録取消制度

履修確定後においても、当初想定した履修計画・受講目的が達成されないなどの理由により、履修を取り消すことができます。ただし、必修科目や取消しができないとシラバスに明記された科目は、取消しの対象外です。

履修の取消しは、科目の開講区分ごとに定められた期間に行うことができます。前期科目、後期科目、通年科目は、当該科目の履修登録期間終了日から3週間が経過した後の1週間以内に、ターム科目については、授業開始から2週間が経過した後の1週間以内に行うことができます。取消手続き等については、ガイダンス、掲示等でお知らせします。

(この制度は、GPA制度の導入に伴って設けられた制度です。GPA制度の詳細については32ページをご覧ください。)

再履修

単位の修得が認められなかった授業科目について、次年度（又は次学期）に再履修することができます。ただし、再履修に当たっては、担当教員の承認が必要となる場合があります。

他学部・他学科履修等

所属する学部以外の学部開設されている全学共通系科目あるいは所属する学部・学科・専攻以外の専門教育科目の履修を希望する場合は、授業科目の担当教員等の承認が必要となるなど、所定の手続きがありますので、教務・研究支援室教務グループに相談してください。

履修登録上限単位数

授業科目を必要以上に履修登録をすると一つひとつの授業科目の理解がおろそかになりがちです。そのため、1学期に履修登録できる単位数の上限を24単位と定めています。ただし、集中講義科目、自由科目及び資格取得関係科目（40～41ページ参照）は履修登録上限の対象としません。

【注意事項】

次の科目は集中講義であっても上限の24単位に含みます。

- ・CALL英語集中Ⅰ～Ⅳ
- ・eラーニング英語Ⅰ～Ⅳ（再履修）

※成績優秀者の特例

情報科学部では、早期卒業適格認定者等、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた学生は、上限を超えて履修登録することができます。（早期卒業制度については、36ページをご覧ください。）

4学期制（フォーター制）について

本学では、2018年度から2学期制（セメスター制）を維持しつつ、前後期を半分に分けたタームでも授業を行う4学期制（フォーター制）を併用導入しています。

（平成29年度まで）



（平成30年度から）



1 導入の目的

集中的な学習で教育効果を高めたり、留学やインターシップ等のため長期休業前後の空き時間の確保が期待できます。

2 授業の開講形態

セメスター制では、週1コマ×16週（試験を含む）を基本とします（英語以外の外国語系科目や実験・実習科目など、週2～3コマ×16週の科目もあります。）が、4学期制（フォーター制）では、科目の特性や学修効果により、次のパターンがあります。

- (1) 週2コマ×8週（試験を含む）
月曜日1コマと水曜日1コマなどで2コマ、火曜日の1、2限連続などで2コマ等、週2回授業を行います。
- (2) 週1コマ×8週（試験を含む）
これまでのセメスター科目を2つに分ける場合、単位数も半分になります。

3 履修登録等の時期

区 分	履修登録の時期	定期試験の時期	成績開示の時期
第1ターム科目	前期科目と同時期	授業開始8週目	別途設定※
第2ターム科目		前期科目と同時期	前期科目と同時期
第3ターム科目	後期科目と同時期	授業開始8週目	別途設定※
第4ターム科目		後期科目と同時期	後期科目と同時期

※成績の成績証明書への記載は、第1ターム科目は前期科目、第3ターム科目は後期科目と同時期に行う。

【注意事項】

第2ターム科目及び第4ターム科目については、履修登録期間に授業が始まっていないこともあり、履修登録漏れとなる学生がよく見受けられます。履修登録の確定後は履修登録ができない（授業を受けることができない）ので、よく確認してください。

4 その他

- (1) 卒業要件を前期又は後期中途で満たしても、卒業の時期は、3月又は9月となります。
- (2) 授業料は、特定タームのための履修であっても、前期又は後期の半期分をそれぞれの納付時期に納付することとなります。
- (3) 詳しくは、学部ガイダンスで説明します。

試験と成績

はじめに

授業科目の単位の認定は、原則として試験によって行われます。ただし、授業科目によっては担当教員の判断によって、レポートあるいはその他の課題を課すことにより試験に替える場合があります。なお、この場合原則として出席回数が授業実施回数の3分の2以上なければ、評価の対象外となります。

定期試験と随時試験

- ◆ 試験は学期末等に期間を定めて実施する定期試験と、授業期間中に随時行う試験があります。
- ◆ 定期試験は、原則として出席回数が授業実施回数の3分の2以上なければ、当該授業科目の試験を受けることができません。

受験時の注意事項

- ◆ 定期試験の際は原則として座席を指定するので、早めに入室して自分の座席を確認してください。
- ◆ 受験の際は、担当教員の指示に従ってください。教員が指示したものを以外は机の上に置くことはできません。
- ◆ 受験の際は、机上番号札の手に学生証を置いてください。
- ◆ 学生証を忘れた場合は、試験開始までに教務・研究支援室教務グループで仮学生証の交付を受けてください。
- ◆ 原則として試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。

不正行為

試験におけるカンニングや成績評価の対象となるレポート課題の剽窃行為（他人の文章等の盗用）などの不正行為を行った者には厳重に対処します。不正行為を行った場合は、原則としてその学期に履修した授業科目の全科目を不合格とする処分を行います。

追試験

定期試験を欠席した者に対しては特別な救済措置は行いません。ただし、以下に掲げる理由により、やむを得ず受験できなかった者は、受験できなかった理由を証明する書類を添え、追試験の申請を行うことができます。

- ◆ 本人の病気又は怪我
- ◆ 事故や自然災害等による公共交通機関の遅延
- ◆ 2親等以内の親族の葬儀への参列
- ◆ その他やむを得ない理由と副学長（教育・研究担当）が認めたもの

なお、追試験の実施日については原則として、欠席した

試験日から3週間以内となっています。申請は欠席した試験日から1週間以内ですので追試験の実施を希望する場合は、速やかに教務・研究支援室教務グループに相談してください。

成績評価

- ◆ 成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して評価します。
- ◆ 成績の表示は次のとおりとし、秀、優、良、可を合格とし、所定の単位が与えられます。

評価	評点（試験等の得点）	GP	合否
秀	90点～100点	4	合格
優	80点～89点	3	
良	70点～79点	2	
可	60点～69点	1	
不可	59点以下	0	不合格

※定期試験を受験していない場合、定期試験に代わるレポート課題を提出していない場合又は出席回数が授業の3分の2に満たない場合は、「不可*」と表示します。

- ◆ 評価の内容
 - 秀・・・科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。
 - 優・・・科目の到達目標を十分達成している。
 - 良・・・科目の到達目標を達成している。
 - 可・・・科目の到達目標を最低限達成している。
 - 不可・・・科目の到達目標を達成していない。

GPA(Grade Point Average) 制度

本学では、学生の皆さんの成績評価にあたって、GPA制度を導入しています。GPA制度は、Grade Point Average 制度の略称で、米国をはじめ諸外国の大学で採用されている国際的な成績評価システムであり、日本においても多くの大学で採用されているものです。

GPA制度は、成績評価を受けた授業科目ごとの5段階評価を4から0までの点数（GP：Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して得られる1単位当たりの平均値です。ただし、自由科目は算定に含めません。

$$GPA = \frac{\text{成績評価を受けた授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数の合計}}{\text{成績評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

成績発表

成績は、確定次第「いちぼる」の「成績確認」で確認することができます。ただし、成績証明書への記載は学期末になります。各学期の初めに、前の期の成績表を配付します。配付方法は各学部・学年によって異なるので、掲示や各学部の行うガイダンス等でお知らせします。

成績評価に関する異議申立て

成績評価に関して疑問や質問がある場合は、まず、授業担当教員に説明を求めてください。授業担当教員による説明に納得がいかない場合は、成績評価に関する異議申立てを行うことができますので、教務・研究支援室教務グループに相談してください。

ただし、異議申立ての期間は、当該授業の成績開示後1週間以内となっていますので、注意してください。

なお、異議申立てに対する回答は、原則として、申立書受理日から2週間以内に行いますが、異議申立てに対する回答に対しての再異議申立てはできません。



教育課程等

教育課程

本学の教育課程は、全学共通系科目、外国語系科目及び専門教育科目で構成されています。授業科目の種類及び単位数については教育課程表(本冊子37ページ～68ページ)を参照してください。

1 全学共通系科目

全学共通系科目は総合共通科目(総合科目、広島科目、平和科目、共通科目A(人間と社会)、共通科目B(数理と自然)、共通科目C(芸術)、基礎演習、キャリア形成・実践科目)、一般情報処理科目及び保健体育科目で編成されています。

(1) 総合科目

3学部の教員が連携し、それぞれの専門分野の複合領域を講義する授業科目

(2) 広島科目

広島と周辺圏域の歴史や文化・産業などを学ぶとともに、地域課題へのアプローチを汎用的に学ぶ授業科目

(3) 平和科目

被爆体験を若い世代に継承するとともに、平和と人権について多面的に学ぶことを目的とした授業科目

(4) 共通科目A(人間と社会)

人間と文化、社会のかかわりを中心とする授業科目

(5) 共通科目B(数理と自然)

人間と科学のかかわりを中心とする授業科目

(6) 共通科目C(芸術)

創造と表現を中心とする授業科目

(7) 基礎演習

大学教育において必要となる汎用的技能の基礎を学ぶ授業科目

(8) キャリア形成・実践科目

自らの将来(就職、進学等)について考えるための授業科目

2 外国語系科目

外国語系科目は、英語とその他の外国語で編成されています。

3 専門教育科目

各学部ごとに「専門基礎科目」と「専門科目」で編成されています。

4 資格取得関係科目

教員免許状の取得のための「教育職員免許状受領資格取得関係科目」と学芸員資格取得のための「学芸員資格取得関係科目」を設置しています。各学部で取得できる資格等については69ページ～84ページを参照してください。

卒業要件

卒業するためには、4年(3年次編入学生にあっては2年)以上在学し、次の表に定める単位を修得しなければなりません。この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

区 分	国際学部	情 報 科 学 部				芸 術 学 部	
		情 報 工 学 科	知 能 工 学 科	シ ス テ ム 工 学 科	医 用 情 報 科 学 科	美 術 学 科	デ ザ イ ン 工 芸 学 科
全学共通系科目(A)	総合科目	2単位以上		2単位以上		2単位以上	
	広島科目	2単位以上		2単位以上		2単位以上	
	平和科目	2単位以上		2単位以上		2単位以上	
	共通科目A(人間と社会)	4単位以上		4単位以上		4単位以上	
	共通科目B(数理と自然)	2単位以上		4単位以上		4単位以上	
	共通科目C(芸術)	2単位以上		2単位以上		0単位以上	
	基礎演習	1単位		1単位		1単位	
	キャリア形成・実践科目	0単位以上		0単位以上		0単位以上	
総合共通科目小計	15単位以上		18単位以上		18単位以上		
一般情報処理科目	2単位		2単位		2単位		
保健体育科目	2単位		2単位		2単位		
外国語系科目(B)	12単位以上		8単位以上		6単位以上		
全学共通系科目等計(A+B)	31単位以上		33単位		30単位		
専門教育科目	専門基礎科目	9単位以上		96単位		22単位	
	専門科目	84単位以上				76単位	
	計	93単位以上		96単位		98単位	
卒業必要単位数	128単位		129単位		128単位		

履修基準

卒業に必要な単位数は、上の表のとおり各学部によって異なります。

各学部の履修基準は次のとおりとなっていますので、しっかりと確認して間違いのないよう注意してください。

国際学部

- 1 総合共通科目
上の表の基準により履修してください。
- 2 一般情報処理科目
「情報基礎」(2単位)を履修してください。
- 3 保健体育科目
「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。
- 4 外国語系科目
「英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ、CALL英語集中Ⅰ、CALL英語集中Ⅱ」(各1単位)の4単位、及び、英語以外の同一の外国語系科目(各2単位)の4単位の計8単位は必修です。また、このほか「英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、CALL英語集中Ⅲ、CALL英語集中Ⅳ」(各1単位)、英語以外の同一の外国語系科目から4単位以上が必修です。ただし、英語以外の外国語系科目Ⅰ～Ⅳは同一の外国語でなければなりません。
- 5 専門教育科目
国際学部の専門教育科目は「専門基礎科目」と「専門科目」により構成されています。また、専門科目は、5プログラム科目、アクティブ科目、卒業論文、その他により構成されています。その履修基準は以下のとおりです。
 - (1) 専門基礎科目
ベーシック科目(入門・演習)のうち4科目(5単位)の必修科目と、英語スキルアップ科目のうち4単位以上の計9単位以上が卒業要件です。
 - (2) 専門科目
「専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ」(各1単位、計2単位以上)、「卒論演習Ⅰ、卒論演習Ⅱ」(各1単位、計2単位)、卒業論文(4単位)を含め、84単位以上が卒業要件です。
 - (3) 「領域」の認定
5プログラム科目のうち、1つのプログラム科目と5プログラム共通科目(地域研究)から36単位以上を履修し、かつ、アクティブ科目から6単位以上と卒業論文4単位の計46単位以上を履修することで、当該プログラムの「領域」を専門に履修したことの認定を受けることができます。ただし、領域認定に加算される5プログラム共通科目の単位数は8単位以内です。

情報科学部

- 1 総合共通科目
前ページの表の基準により履修してください。
- 2 保健体育科目
「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。

- 3 外国語系科目
「英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ、英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、eラーニング英語Ⅰ、eラーニング英語Ⅱ、eラーニング英語Ⅲ、eラーニング英語Ⅳ」(各1単位)の計8単位が必修となります。
- 4 専門教育科目
情報科学部の専門教育科目は全学科対象の「専門基礎科目」と各学科ごとの「専門科目」により構成されています。情報科学部では、2年前期から学科に配属されますが、2年前期までは主に「専門基礎科目」を履修し、2年後期から各学科ごとの「専門科目」を履修することになります。各学科における専門教育科目の履修基準は以下のとおりです。
 - (1) 情報工学科
必修42単位を含め96単位
 - (2) 知能工学科
必修42単位を含め96単位
 - (3) システム工学科
必修42単位を含め96単位
 - (4) 医用情報科学科
必修42単位を含め96単位
- 5 学科配属について
情報科学部の学生は、1年後期終了時に、原則として前期を1期及び後期を1期、各期を途中休学することなく履修していれば、本人の希望と成績に基づき、「情報工学科」「知能工学科」「システム工学科」「医用情報科学科」のいずれかの学科に配属されます。

芸術学部

- 1 総合共通科目
前ページの表の基準により履修してください。
- 2 一般情報処理科目
「情報活用基礎」(2単位)を履修してください。
- 3 保健体育科目
「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。
- 4 外国語系科目
「CALL英語集中Ⅰ、CALL英語集中Ⅱ、英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ」(各1単位)の計4単位が必修となります。また、このほか英語科目「英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、CALL英語集中Ⅲ、CALL英語集中Ⅳ」及び英語以外の外国語系科目の中から2単位以上を履修してください。
- 5 専門教育科目
芸術学部の専門教育科目は「専門基礎科目」と「専門科目」により構成されています。その履修基準は専門基礎科目22単位、専門科目76単位(必修)です。

※ 各学部においては、学期初めのガイダンス等で細かな履修指導を行っています。ガイダンス等には必ず出席してください。

卒業論文等登録条件

4年次に進級し、卒業論文、卒業研究、卒業制作の履修登録を行うためには、各所属する学部・学科において設けている条件を満たさなければなりません。各学部とも卒業論文等は必修科目であり、履修登録ができないことは卒業延期となることを意味します。

4年生になって後悔しても始まりません。そんなことにならないよう、今後、計画的に単位を修得するようにしてください。

学部	卒業論文等登録条件
国際学部	卒業の要件となる128単位のうち、 <u>90単位以上</u> を修得
情報科学部(全学科)※	次のA及びBの両方を満たすこと A 卒業の要件となる129単位のうち、必修の実験、演習科目の全単位を含む <u>110単位以上</u> を修得 B 入学後に受験したTOEIC® L&Rテスト又はTOEIC® L&R IPテストにおいて350点以上のスコアを取得
芸術学部(全学科)	卒業の要件となる128単位のうち、 <u>90単位以上</u> を修得

(※) 情報科学部においては、4年次進級条件となります。この条件を満たさないと、卒業研究以外の4年次に開設されている他の授業科目も履修できません。詳しくは学期初めの学部ガイダンス等において説明します。

早期卒業制度

情報科学部では、3年以上在学し、学部が定める卒業単位を優秀な成績で修得し、かつ、学生本人が希望した場合には、4年未満の在学で卒業できる「早期卒業制度」が導入されています。

早期卒業が認められる要件は以下のとおりです。

- ◆ 学生本人が早期卒業を希望していること。
- ◆ 所属する学科の定める卒業要件として必要な単位数を修得していること。
- ◆ 所属する学科における成績順位が上位で、所属学科が成績優秀と認めること。

早期卒業するためには、早期卒業の適格認定を受けたうえで、4年間で修得する単位数を3年もしくは3年半で修得しなくてはなりません。

早期卒業を目指す優秀な成績と認められた学生(早期卒業適格認定者)は、半期で登録できる履修単位数の上限を超えて履修を行い、上位の学年に開設された授業科目の単位を修得することができます。履修単位数の上限を解除できる要件は別に定められており、その申請手続きは1年次の終わりから行うことができます。

早期卒業制度についての詳細は、入学時の学部ガイダンス等で説明します。

他大学との単位互換制度

単位互換とは、自分の所属大学以外の大学が提供した授業科目を受講し、それによって修得した単位を所属大学の単位として認定する仕組みのことです。各大学はそれぞれの特色ある教育課程を持っており、皆さんの関心を深めるためには他大学の講義を受講してみたいということもあることでしょう。そうした場合に単位互換という制度を利用すれば、他大学の講義を受講することも可能です。

本学では、他大学との連携や教育内容の充実を図ることを目的として、「教育ネットワーク中国」の行う単位互換制度に加入しています。この単位互換制度は、単位互換に関する協定を締結した大学等の学生が他大学の授業を受講して修得した単位を、その学生の所属する大学の単位として認定できるようにした制度です。ただし、本学では、卒業要件として認められる単位は30単位が上限となりますが、学部によって取扱いが異なりますので、募集要項等よく確認してください。

なお、この単位互換制度については、毎年3月末頃に募集要項を配布しています。

詳しくは教務・研究支援室教務グループへお問い合わせください。

教育ネットワーク中国 <http://www.enica.jp/>

特定プログラム

特定プログラムとは、特定の領域・分野について、一定の科目を履修し、単位取得することにより、その領域・分野において学業を修めたことを大学として認定するプログラムです。

地域貢献特定プログラム

地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材の育成を目指す教育プログラムです。

< 修得を目指す能力 >

- 地域の特性・課題を理解する能力
- 課題解決の方法を総合的視野から企画する能力
- 自治体・企業・NPOなどとのネットワークを形成・調整する能力
- ネットワークの中で自らの専門性を効果的に発揮する能力

上記の能力を修得できるように、地域貢献特定プログラム科目(教育課程表(37ページ~68ページ)の備考欄に^地マークのある科目)を設定します。

● 次のAからDを含めて8単位以上取得した場合、プログラム修得者として認定します。

- A [総合科目] 群から2単位以上
- B [広島科目] 群から2単位以上
- C [地域課題演習] 又は [地域実践演習] から1単位以上
- D 学部専門教育科目において別途定める「地域志向科目」群から2単位以上

● プログラム修得者として認定され、さらに地域貢献に関するテーマで卒業論文・研究・制作の単位を取得した学生には、「ひろしま地域リーダー」の称号を授与します。

教育課程表

全学共通系科目

総合共通科目

注1

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
総合科目	地球環境論		2		1・2年・前期	全学部	
	地域再生論入門		2		1・2年・後期	全学部	④
	創作と人間		2		1・2年・前期	全学部	④
	心の健康・身体の健康		2		1・2年・前期	全学部	
	メディアと社会		2		1・2年・前期	全学部	
	情報社会論		2		1・2年・後期	全学部	
	情報と企業		2		1・2年・後期	全学部	
	NPO論		2		1・2年・前期	全学部	④
広島科目	広島の観光学		2		1・2年・前期	全学部	④
	ひろしま論		2		1・2年・前期	全学部	④
	広島の産業と技術		2		1・2年・後期	全学部	④
	地域課題演習		1		1・2年次	全学部	④
平和科目	平和と人権A (ヒロシマと国際平和)		2		1・2年・前期	全学部	
	平和と人権B (現代世界と人権)		2		1・2年・後期	全学部	
	広島からの平和学：実践の方法		2		1・2年・後期	全学部	
	平和インターンシップ		2		1・2年・前期	全学部	
	国際化時代の平和		2		1・2年・後期	全学部	
共通科目A (人間と社会)	哲学A		2		1・2年・前期	全学部	
	哲学B		2		1・2年・後期	全学部	
	世界の宗教		2		1・2年・前期	全学部	
	心理学		2		1・2年・後期	全学部	
	歴史学		2		1・2年・前期	全学部	
	現代史A		2		1・2年・前期	全学部	
	現代史B		2		1・2年・後期	全学部	
	世界の文学		2		1・2年・前期	全学部	
	法学 (日本国憲法)		2		1・2年・前後期	全学部	注2
	政治学		2		1・2年・後期	全学部	
	経済学		2		1・2年・前期	全学部	
	社会学		2		1・2年・前期	全学部	
	文化人類学		2		1・2年・後期	全学部	
	自然人類学		2		1・2年・前期	全学部	
経営学		2		1・2年・後期	全学部		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
共通科目B (数理と自然)	数学概論		2		1・2年・前期	国際・芸術	
	物理学概論		2		1・2年・第1ターム (前期)	国際・芸術	
	基礎物理学		2		1・2年・第1ターム (前期)	全学部	注3
	化学概論		2		1・2年・後期	国際・芸術	
	基礎化学		2		1・2年・前期	全学部	注3
	生物学概論		2		1・2年・前期	国際・芸術	
	基礎生化学		2		1・2年・後期	全学部	注3
	情報科学概論		2		1・2年・後期	国際・芸術	
共通科目C (芸術)	物理・化学実験		2		1・2年・後期	全学部	注3
	デッサン概論		2		1・2年・前期	国際・情報	
	油絵入門		2		1・2年・第3ターム (後期)	国際・情報	
	日本画入門		2		1・2年・第3ターム (後期)	国際・情報	
	立体造形概論		2		1・2年・後期	国際・情報	
	プレゼンテーション概論		2		1・2年・前期	全学部	
	デザイン工芸概論		2		1・2年・後期	全学部	
コンピュータ・アート		2		2年・後期	全学部	注4	
基礎演習	3学部合同基礎演習	1			1年・前期	全学部	
キャリア形成・ 実践科目	キャリアデザイン i		1		1・2年・第1ターム (前期)	全学部	
	キャリアデザイン ii		1		1・2年・第4ターム (後期)	全学部	
	キャリアサポートベーシックA		1		2・3年・前期	全学部	
	キャリアサポートベーシックB		1		2・3年・後期	全学部	
	国際交流演習 I		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習 II		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習 III		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習 IV		1		1～4年・通年	全学部	

一般情報処理科目

一般情報処理科目	情報活用基礎	2			1年・前期	全学部	注5
----------	--------	---	--	--	-------	-----	----

保健体育処理科目

保健体育科目	健康科学		2		1年・前期	全学部	
	体育実技 I		1		1年・前期	全学部	
	体育実技 II		1		1年・後期	全学部	

注1 履修時期は1年次でも2年次でもよいので、専門教育科目とのバランスを考えながら履修時期を決めてください。ただし、3年次、4年次においても下年次履修は可能です。

注2 「法学（日本国憲法）」は、前期、後期どちらにも開講しますが、前期は国際学部生、後期は情報科学部生及び芸術学部生を対象とします。

注3 対象学部は「全学部」としていますが、主として情報科学部の学生向けの講義内容となっています。

注4 対象学部は「全学部」としていますが、主として国際学部及び芸術学部の学生向けの講義内容となっています。

注5 情報科学部は第1ターム（前期）に行います。

外国語系科目

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
英 語 科 目	CALL英語集中Ⅰ	1			1年・前期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅱ	1			1年・後期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅲ		1		2年・前期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅳ		1		2年・後期	国際・芸術	
	eラーニング英語Ⅰ	1			1年・前期	情報	
	eラーニング英語Ⅱ	1			1年・後期	情報	
	eラーニング英語Ⅲ	1			2年・前期	情報	
	eラーニング英語Ⅳ	1			2年・後期	情報	
	英語応用演習Ⅰ	1			1年・前期	全学部	
	英語応用演習Ⅱ	1			1年・後期	全学部	
	英語応用演習Ⅲ		1		2年・前後期	国際	注6
	英語応用演習Ⅳ		1		2年・前後期	国際	注6
	英語応用演習Ⅲ	1			2年・前期	情報	
	英語応用演習Ⅳ	1			2年・後期	情報	
	英語応用演習Ⅲ		1		2年・前期	芸術	
	英語応用演習Ⅳ		1		2年・後期	芸術	
	科学英語演習Ⅰ			1	2年・前期	情報	
	科学英語演習Ⅱ			1	2年・後期	情報	
英 語 以 外 の 外 国 語 系 科 目	ドイツ語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	ドイツ語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	ドイツ語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	ドイツ語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	フランス語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	フランス語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	フランス語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	フランス語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	中国語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	中国語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	中国語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	中国語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	ハンブルⅠ		2		1年・前期	全学部	
	ハンブルⅡ		2		1年・後期	全学部	
	ハンブルⅢ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	ハンブルⅣ		2		1・2年・後期	全学部	注7

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
英語以外の 外国語系科目	アラビア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	アラビア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	アラビア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	アラビア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	ロシア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	ロシア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	ロシア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	ロシア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	イタリア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	イタリア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	イタリア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	イタリア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	スペイン語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	スペイン語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	スペイン語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7
	スペイン語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7
	日本語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	注8
	日本語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	注8
日本語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注7 注8	
日本語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注7 注8	

注6 前期・後期とも開講するので、国際学部の学生は別途掲示するクラス分け表により前期又は後期のいずれかを履修すること。

注7 1年生が履修する場合は、科目担当教員の承認が必要です。

注8 外国人留学生対象の科目であり、日本人学生は履修できません。

資格取得関係科目

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
教育職員免許状 受領資格取得 関係科目	教師論			2	1年・後期	全学部	
	教育原理			2	2年・前期	全学部	
	教育心理学			2	2年・後期	全学部	
	教育課程論			1	2年・後期	全学部	
	教育経営学			2	3年・前期	情報・芸術	注9
	特別支援教育論			1	3年・前期	全学部	
	生徒・進路指導論			2	2年・前期	全学部	
	道徳教育論			2	2年・後期	全学部	
	教育方法・技術論			2	2年・後期	全学部	
	教育相談論			2	2年・前後期	全学部	注10

教育職員免許状 受領資格取得 関係科目	総合的な学習の時間論		1	3年・後期	全学部	
	特別活動論		1	3年・第4ターム(後期)	全学部	
	教科教育法(英語) A I		2	2年・前期	国際	
	教科教育法(英語) A II		2	2年・後期	国際	
	教科教育法(英語) B I		2	3年・前期	国際	
	教科教育法(英語) B II		2	3年・後期	国際	
	教科教育法(数学) I		2	3年・前期	情報	
	教科教育法(数学) II		2	3年・後期	情報	
	教科教育法(情報) I		2	3年・前期	情報	
	教科教育法(情報) II		2	3年・後期	情報	
	教科教育法(美術) A I		2	2年・前期	芸術	
	教科教育法(美術) A II		2	2年・後期	芸術	
	教科教育法(美術) B I		2	3年・前期	芸術	
	教科教育法(美術) B II		2	3年・後期	芸術	
	教科教育法(工芸) I		2	3年・前期	芸術	
	教科教育法(工芸) II		2	3年・後期	芸術	
	教育実習 I		3	4年次	全学部	
	教育実習 II		2	4年次	全学部	
	教育実践演習(中等) A		2	4年次	国際	
	教育実践演習(中等) B		2	4年次	情報	
	教育実践演習(中等) C		2	4年次	芸術	
	学校インターンシップ		2	2・3・4年次	国際・芸術	
	教職特講		2	3年・後期	全学部	
学芸員資格取得 関係科目	生涯学習概論		2	1年・後期	全学部	
	博物館教育論		2	2年・前期	全学部	
	博物館資料論		2	2年・後期	全学部	
	博物館概論		2	3年・前期	全学部	
	博物館経営論		2	3年・後期	全学部	
	博物館資料保存論		2	3年・後期	全学部	
	博物館展示論		2	3年・後期	全学部	
	博物館情報・メディア論		2	3年・後期	全学部	
	博物館実習		3	4年次	全学部	

注9 国際学部は学部専門科目(公共政策・NPOプログラム)の選択科目として履修すること。

注10 前期は芸術学部、後期は国際学部及び情報科学部の学生を対象に開講します。

専門教育科目

国際学部 国際学科

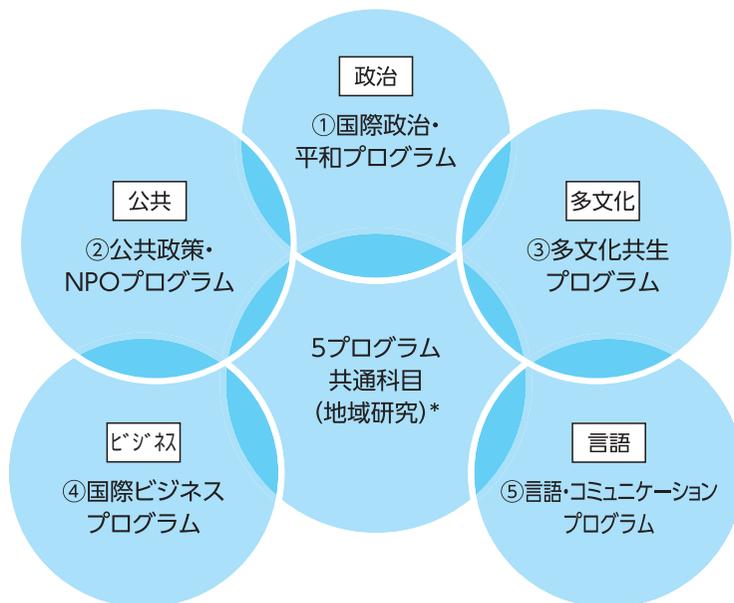
科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	ベーシック入門科目	国際研究入門	2		1年・前期	
		データ分析入門		2	1年・後期	
	ベーシック演習科目	基礎演習	1		1年・後期	
		発展演習Ⅰ	1		2年・前期	
		発展演習Ⅱ	1		2年・後期	
	英語スキルアップ科目	英語読解法Ⅰ		2	2年・前期	
		英語読解法Ⅱ		2	2年・後期	
		英語討論技法Ⅰ		2	2年・前期	
		英語討論技法Ⅱ		2	2年・後期	
		英文作法Ⅰ		2	2年・前期	
	英文作法Ⅱ		2	2年・後期		

【専門科目の「領域」認定】

国際学部では、43頁から48頁までの専門科目に5つのプログラムを設け、1つのプログラム科目と5プログラム共通科目（地域研究）から36単位以上を履修し、かつ、アクティブ科目から6単位以上と卒業論文4単位の計46単位以上を履修することで、当該プログラムの「領域」認定を受けることができます。

ただし、領域認定に加算される5プログラム共通科目（地域研究）の単位数は8単位以内です。

また、授業科目によっては、他の領域認定の対象となる科目もあり、備考欄に下記の[略号]を付記しています。



*2019年度から新設される科目区分

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
5 専 門 科 目 プ ロ グ ラ ム 科 目	国際政治・ 平和プログラム	国際関係論		2		1年・前期	
		国際関係史入門		2		1年・前期	
		国際法 I		2		2年・前期	
		国際法 II		2		2年・後期	
		国際協力論 I		2		2年・前期	公共
		国際協力論 II		2		2年・後期	公共
		国際社会論 I		2		2年・前期	多文化
		国際社会論 II		2		2年・後期	多文化
		国際安全保障論 I		2		2年・前期	
		国際安全保障論 II		2		2年・後期	
		International Politics i		1		2年・第1ターム (前期)	
		International Politics ii		1		2年・第2ターム (前期)	
		比較政治学		2		2年・前期	
		民族国家論 I		2		3年・前期	
		民族国家論 II		2		3年・後期	
		開発政治論 I		2		3年・前期	公共
		開発政治論 II		2		3年・後期	公共
		平和研究入門		2		1年・後期	
		平和研究 I		2		2年・前期	
		平和研究 II		2		2年・後期	
		国際人権法		2		3年・前期	
		日本社会と人権		2		3年・後期	多文化
		紛争解決論 I		2		3年・前期	
		紛争解決論 II		2		3年・後期	
		国際機構論 I		2		3年・前期	
		国際機構論 II		2		3年・後期	
		国際関係史 (日本) I		2		3年・前期	
		国際関係史 (日本) II		2		3年・後期	
		国際関係史 (朝鮮半島) I		2		3年・前期	
		国際関係史 (朝鮮半島) II		2		3年・後期	
		国際関係史 (中国) I		2		2年・前期	
		国際関係史 (中国) II		2		2年・後期	
		国際関係史 (アメリカ) I		2		3年・前期	
国際関係史 (アメリカ) II		2		3年・後期			
国際関係史 (ロシア) I		2		3年・前期			
国際関係史 (ロシア) II		2		3年・後期			
Contemporary Political Issues		2		1年・後期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	公 共 政 策・ NPOプログラム			2	1年・後期	
					2	1年・後期	
					2	2年・前期	
					2	1年・後期	
					2	2年・後期	
					2	2年・前期	ビズ初 地
					2	2年・後期	ビズ初 地
					2	1年・後期	
					1	2年・第1ターム(前期)	
					1	2年・第2ターム(前期)	
					2	2年・前期	
					2	2年・後期	
					2	2年・後期	ビズ初
					2	2年・前期	
					2	2年・後期	
					2	3年・前期	
					2	3年・後期	
					2	2年・前期	政治
					2	2年・後期	
					2	2年・前期	ビズ初 地
					2	2年・後期	
					2	2年・前期	ビズ初
					2	2年・後期	ビズ初
					2	2年・前期	政治
					2	2年・後期	
					2	3年・前期	
					2	2年・後期	ビズ初 地
					2	2年・後期	
					2	3年・前期	
					2	1年・後期	
					2	3年・前期	
					2	3年・後期	
		2	2年・前期				
		2	2年・後期	ビズ初 地			
		2	3年・後期				

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	多文化共生 プログラム		2		1年・前期	
				2		1年・前期	
				2		2年・前期	言語
				2		2年・前期	言語 ^②
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		3年・前期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		1年・後期	政治
				2		2年・前期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	政治
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
				2		2年・前期	
	2		2年・後期				

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	国際ビジネス入門		2		1年・前期	
		国際経営論Ⅰ		2		2年・前期	
		国際経営論Ⅱ		2		2年・後期	
		マーケティング論Ⅰ		2		2年・前期	公共
		マーケティング論Ⅱ		2		2年・後期	
		経営史		2		2年・前期	地
		多国籍企業論Ⅰ		2		2年・前期	
		多国籍企業論Ⅱ		2		2年・後期	
		財務管理論Ⅰ		2		2年・前期	
		財務管理論Ⅱ		2		2年・後期	
		会計学Ⅰ		2		1年・第3ターム(後期)	
		会計学Ⅱ		2		2年・前期	
		公会計論		2		2年・後期	
		国際会計論		2		2年・後期	
		経営組織論		2		2年・後期	
		経営戦略論		2		2年・前期	
		国際金融論Ⅰ		2		3年・前期	公共
		国際金融論Ⅱ		2		3年・後期	
		国際貿易論		2		3年・前期	
		国際ビジネス法務Ⅰ		2		3年・前期	公共
		国際ビジネス法務Ⅱ		2		3年・後期	
		人的資源管理論		2		2年・前期	
		テクノロジーマネジメント		2		3年・後期	
		International Commerce		2		1年・後期	
International Business		2		2年・後期			
International Human Resource Management		2		3年・後期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	言語・コミュニケーション研究入門A		1		1年・第3ターム(後期)	
		言語・コミュニケーション研究入門B		1		1年・第4ターム(後期)	
		社会言語論Ⅰ		2		3年・前期	
		社会言語論Ⅱ		2		3年・後期	
		応用言語論Ⅰ		2		2年・前期	
		応用言語論Ⅱ		2		2年・後期	
		日本語学・日本語教育学Ⅰ		2		2年・前期	
		日本語学・日本語教育学Ⅱ		2		2年・後期	
		翻訳論Ⅰ		2		2年・前期	
		翻訳論Ⅱ		2		2年・後期	
		言語比較論Ⅰ		2		2年・前期	
		言語比較論Ⅱ		2		2年・後期	
		通訳技法論Ⅰ		2		2年・前期	
		通訳技法論Ⅱ		2		2年・後期	
		コミュニケーション技法論Ⅰ		2		2年・前期	
		コミュニケーション技法論Ⅱ		2		2年・後期	
		Cross-cultural Language and CommunicationⅠ		2		2年・前期	
		Cross-cultural Language and CommunicationⅡ		2		2年・後期	
		フランスの文学と文化		2		2年・前期	多文化
		イギリスの文学と文化Ⅰ		2		2年・前期	多文化
		イギリスの文学と文化Ⅱ		2		2年・後期	多文化
		英語学概論Ⅰ		2		3年・前期	
		英語学概論Ⅱ		2		3年・後期	
		英文法論		2		3年・前期	
		英米文学概論Ⅰ		2		3年・前期	
		英米文学概論Ⅱ		2		3年・後期	
		Special Lecture in British and American LiteratureⅠ		2		3年・前期	
		Special Lecture in British and American LiteratureⅡ		2		3年・後期	
		英文構成法Ⅰ		2		3年・前期	
		英文構成法Ⅱ		2		3年・後期	
		Communication in EnglishⅠ		1		3年・前期	
		Communication in EnglishⅡ		1		3年・後期	
		英語聴解法		2		3年・後期	
時事英語		2		3年・前期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	提供元 プログラム
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	5プログラム 共通科目 (地域研究)	日本政治論		2	2年・前期	政治
			国際日本研究		2	3年・前期	多文化
			日本文化史Ⅰ		2	1年・後期	多文化
			日本文化史Ⅱ		2	2年・前期	多文化
			Modern Japanese Studies		2	2年・後期	多文化
			東北アジア政治論ⅰ		1	1年・第3ターム(後期)	政治
			東北アジア政治論ⅱ		1	1年・第4ターム(後期)	政治
			東南アジア研究		2	2年・後期	政治
			東アジア研究		2	3年・前期	多文化
			中国文化論Ⅰ－ⅰ		1	2年・第1ターム(前期)	多文化
			中国文化論Ⅰ－ⅱ		1	2年・第2ターム(前期)	多文化
			中国文化論Ⅱ－ⅰ		1	2年・第3ターム(後期)	多文化
			中国文化論Ⅱ－ⅱ		1	2年・第4ターム(後期)	多文化
			アメリカ政治論ⅰ		1	2年・第3ターム(後期)	政治
			アメリカ政治論ⅱ		1	2年・第4ターム(後期)	政治
			アメリカ教育論		2	2年・前期	公共
			American CultureⅠ		2	2年・前期	多文化
			American CultureⅡ		2	2年・後期	多文化
			ラテンアメリカ研究Ⅰ		2	3年・前期	多文化
			ラテンアメリカ研究Ⅱ		2	3年・後期	多文化
			ヨーロッパ政治論		2	2年・前期	政治
			イギリス文化論Ⅰ		2	2年・前期	多文化
			イギリス文化論Ⅱ		2	2年・後期	多文化
			フランス文化論		2	2年・後期	多文化
			Études de la société française		2	3年・前期	公共
			Gesellschaft in Deutschland		2	3年・後期	公共
			ロシア研究		2	1年・後期	政治
			中東アラブ研究Ⅰ		2	2年・前期	多文化
			中東アラブ研究Ⅱ		2	2年・後期	多文化
			アフリカ研究Ⅰ		2	1年・後期	多文化
			アフリカ研究Ⅱ－ⅰ		1	2年・第1ターム(前期)	多文化
			アフリカ研究Ⅱ－ⅱ		1	2年・第2ターム(前期)	多文化
African Societies and Development		2	3年・前期	公共			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考	
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	ア ク テ ィ ブ 科 目	国 際 交 流	国際研究特講Ⅰ		2		全学年	
			国際研究特講Ⅱ		2		全学年	
			海外短期語学留学（ハワイ）		2		全学年	
			海外短期語学留学（オルレアン）		4		全学年	
			海外短期語学留学（モスクワ）		2		全学年	
			海外短期語学留学（西南）		2		全学年	
			HIROSHIMA and PEACE		4		2・3・4年次	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	企業インターンシップ		2		2・3・4年次		
		学校インターンシップ		2		2・3・4年次		
		学部派遣海外インターンシップ		2		2・3・4年次		
		公的機関インターンシップ		2		2・3・4年次		
	演 習	専門演習Ⅰ	1			3年次	注1	
		専門演習Ⅱ	1			3年次	注1	
		卒論演習Ⅰ	1			4年次		
		卒論演習Ⅱ	1			4年次		
	特 別 演 習 ・ 特 別 講 義	特別演習Ⅰ		1		4年次	注2	
		特別演習Ⅱ		1		4年次	注2	
		特別演習Ⅲ		1		4年次		
		特別演習Ⅳ		1		4年次		
		特別講義Ⅰ		2		4年次		
特別講義Ⅱ			2		4年次			
卒 業 論 文	卒業論文	4			4年次	注3		

注1 専門演習について

- (1) 専門演習の分野から2単位以上（演習Ⅰと演習Ⅱを各1単位以上）を履修すること。
- (2) 「専門演習Ⅰ」は前期履修を、「専門演習Ⅱ」は後期履修を原則とし、事前に指導教員の許可があった場合、「専門演習Ⅰ」の後期履修又は「専門演習Ⅱ」の前期履修が認められる。

注2 特別演習について

「特別演習Ⅰ」、「特別演習Ⅱ」は、事前に指導教員の許可があった場合に履修が認められる。また、一定の条件のもとに「アクティブ科目」への加算が認められる。

注3 卒業論文着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」とは、国際学部においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次に掲げる条件を満たす者。
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること。
- (2) 教授会で認められた者。

情報科学部 4学科共通

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	解析学Ⅰ	2			1年・前期	
	解析学Ⅰ演習	1			1年・前期	
	線形代数学Ⅰ	2			1年・前期	
	線形代数学Ⅰ演習	1			1年・前期	
	プログラミングⅠ	2			1年・第2ターム(前期)	
	プログラミングⅠ演習	1			1年・第2ターム(前期)	
	コンピュータ基礎	2			1年・前期	
	解析学Ⅱ		2		1年・後期	
	線形代数学Ⅱ	2			1年・後期	
	離散数学		2		1年・後期	
	プログラミングⅡ	2			1年・後期	
	プログラミングⅡ演習	1			1年・後期	
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2			1年・後期	
	情報科学序説			2	1年・後期	
	物理学		2		1年・第4ターム(後期)	
	確率統計		2		2年・第1ターム(前期)	
	情報基礎数学		2		2年・前期	
	幾何学概論			2	2年・前期	
	オートマトンと形式言語		2		2年・前期	
	データ構造とアルゴリズムⅡ		2		2年・前期	
	論理回路		2		2年・第2ターム(前期)	
	電気回路		2		2年・前期	
	情報科学基礎実験α	3			2年次	
情報科学基礎実験β	3			2年次		

注 学科配属要件

次の各号のいずれかに該当する者は、本人の希望と成績により、「情報工学科」「知能工学科」「システム工学科」「医用情報科学科」のいずれかの学科に配属されます。

- (1) 学科配属時までに前期を1期及び後期を1期、各期を途中休学することなく履修していること。
- (2) 教授会で認められた者。

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	情報ネットワーク		2		2年・前期	
	観光情報学		2		2年・前期	⑧
	論理設計		2		2年・後期	
	論理設計演習		1		2年・後期	
	デジタル信号処理		2		2年・後期	
	通信方式		2		2年・後期	
	コンピュータアーキテクチャⅠ		2		2年・後期	
	プログラミングⅢ		2		2年・後期	
	プログラミングⅢ演習		1		2年・後期	
	数値計算プログラミング		2		2年・後期	
	企業活動とプロジェクトマネジメント		2		3年・前期	
	情報理論		2		3年・前期	
	コンピュータアーキテクチャⅡ		2		3年・前期	
	ソフトウェア工学		2		3年・前期	
	データベース		2		3年・前期	
	技術者倫理		2		3年・前期	
	テクニカル・コミュニケーション演習	1			3年・前期	
	情報と職業		2		3年・前期	
	情報工学実験Ⅰ	3			3年・前期	
	電子回路		2		3年・前期	
	LSI設計演習		1		3年・第2ターム(前期)	
	グラフと最適化		2		3年・前期	
	コンパイラ		2		3年・前期	
	ネットワーク設計		2		3年・第1ターム(前期)	
	ネットワーク設計演習		1		3年・第1ターム(前期)	
	マルチメディア通信		2		3年・第2ターム(前期)	
	テクニカル・リーディング演習	1			3年・後期	
	情報工学実験Ⅱ	3			3年・後期	
	オペレーティングシステム		2		3年・後期	
	ネットワークプロトコル		2		3年・後期	
	分散システム		2		3年・後期	
	システムLSI設計		2		3年・第4ターム(後期)	
	CADシステム		2		3年・第4ターム(後期)	
	集積回路		2		3年・後期	
	ネットワークソフトウェア演習		1		3年・第3ターム(後期)	
	ワイヤレスネットワーク		2		3年・第3ターム(後期)	
プロトコル設計		2		3年・後期		
電子物性		2		3年・第4ターム(後期)		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	光エレクトロニクス		2		3年・第4ターム (後期)	
	地域実践演習		1		3 年 次	Ⓓ
	インターンシップ		2		3 年 次	Ⓓ
	知的財産権		2		4年・前期	
	プレゼンテーション技法	1			4 年 次	注3
	技術文書作成法	1			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4 年 次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習及びプログラミングⅡ演習の全単位を含む66単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次のア及びイの両方を満たす者。
 - ア 3年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目の全単位を含む110単位以上を修得していること。
 - イ 入学後に受験したTOEIC® L&Rテスト又はTOEIC® L&R IPテストにおいて350点以上のスコアを取得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

情報科学部 知能工学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	観光情報学		2		2年・前期	Ⓓ
	グラフ理論概論		2		2年・後期	
	数理計画法		2		2年・後期	
	数理論理学		2		2年・後期	
	情報ネットワーク		2		2年・後期	
	オペレーティングシステム		2		2年・後期	
	コンピュータグラフィックス I		2		2年・後期	
	デジタル信号処理		2		2年・後期	
	数値解析		2		2年・後期	
	プログラミングⅢ		2		2年・後期	
	プログラミングⅢ演習		1		2年・後期	
	企業活動とプロジェクトマネジメント		2		3年・前期	
	コンパイラ		2		3年・前期	
	情報セキュリティ		2		3年・前期	
	情報理論		2		3年・前期	
	記号処理プログラミング		2		3年・前期	
	計算論		2		3年・前期	
	データベース		2		3年・前期	
	技術者倫理		2		3年・前期	
	情報と職業		2		3年・前期	
	知能工学実験 I		3		3年・前期	
	人工知能		2		3年・前期	
	データマイニング		2		3年・前期	
	コンピュータグラフィックス II		2		3年・前期	
	パターン認識		2		3年・前期	
	最適化理論		2		3年・後期	
	技術英語演習 I		1		3年・後期	
	知能工学実験 II		3		3年・後期	
	情報検索		2		3年・後期	
	ソフトウェア工学概説		2		3年・後期	
	機械学習		2		3年・後期	
	感性情報処理		2		3年・後期	
	バイオインフォマティクス		2		3年・後期	
	画像情報処理		2		3年・前期	
	自然言語処理		2		3年・後期	
	医用画像処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	地域実践演習		1		3年次	Ⓓ
	インターンシップ		2		3年次	Ⓓ

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	知的財産権		2		4年・前期	
	プレゼンテーション技法	1			4 年 次	注3
	技術英語演習Ⅱ	1			4 年 次	注3
	技術文書作成法	1			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4 年 次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習及びプログラミングⅡ演習の全単位を含む66単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

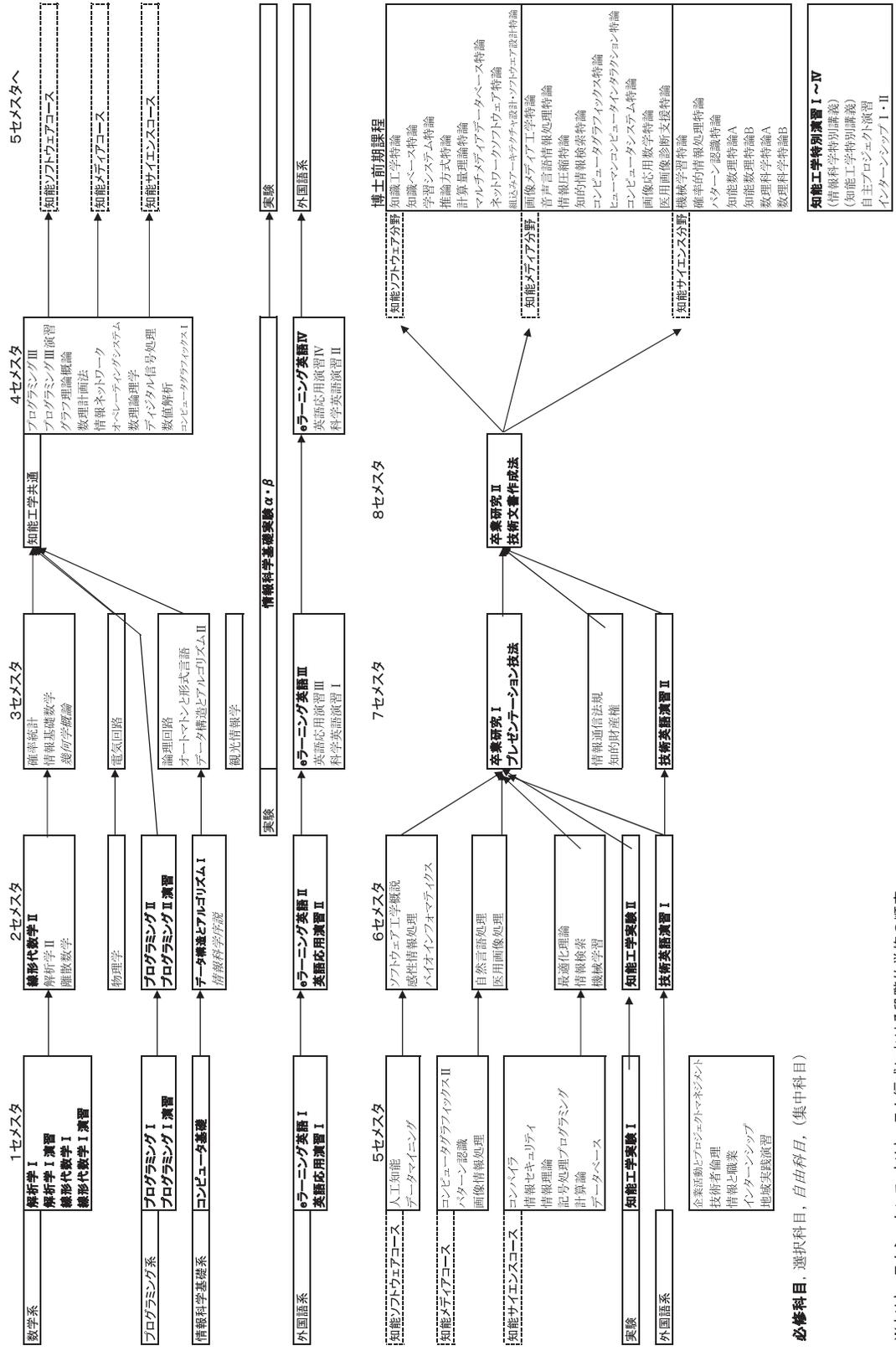
広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次のア及びイの両方を満たす者。
 - ア 3年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目の全単位を含む110単位以上を修得していること。
 - イ 入学後に受験したTOEIC® L&Rテスト又はTOEIC® L&R IPテストにおいて350点以上のスコアを取得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術英語演習Ⅱ、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法及び技術英語演習Ⅱは卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

知能工学科・専攻カリキュラムシミュレーション



必修科目, 選択科目, 自由科目, (集中科目)

※カリキュラムシミュレーション: カリキュラム編成における段階的学修の順序

情報科学部 システム工学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	常微分方程式		2		2年・前期	
	観光情報学		2		2年・前期	Ⓓ
	機械力学		2		2年・後期	
	メカトロニクスⅠ		2		2年・後期	
	電子回路Ⅰ		2		2年・後期	
	コンピュータグラフィックスⅠ		2		2年・後期	
	情報ネットワーク		2		2年・後期	
	ソフトウェア工学概論		2		2年・第4ターム(後期)	
	オブジェクト指向技術		2		2年・第3ターム(後期)	
	情報理論		2		2年・後期	
	応用幾何学		2		2年・後期	
	企業活動とプロジェクトマネジメント		2		3年・前期	
	情報と職業		2		3年・前期	
	システム工学実験Ⅰ	3			3年・前期	
	技術者倫理		2		3年・前期	
	電気電子計測		2		3年・前期	
	メカトロニクスⅡ		2		3年・前期	
	ロボティクスⅠ		2		3年・前期	
	制御工学		2		3年・前期	
	電子回路Ⅱ		2		3年・前期	
	通信工学Ⅰ		2		3年・前期	
	人間工学		2		3年・前期	
	コンピュータグラフィックスⅡ		2		3年・前期	
	最適化手法		2		3年・前期	
	数値計算法		2		3年・前期	
	偏微分方程式		2		3年・前期	
	外書講読演習Ⅰ	1			3年・後期	
	システム工学実験Ⅱ	3			3年・後期	
	デジタル制御		2		3年・後期	
	ロボティクスⅡ		2		3年・後期	
	現代制御理論		2		3年・後期	
	通信工学Ⅱ		2		3年・後期	
	ヒューマンインタフェース		2		3年・後期	
	リアルタイムシステム		2		3年・後期	
音響システム工学		2		3年・後期		
情報セキュリティ概論		2		3年・後期		
ソフトコンピューティング		2		3年・第3ターム(後期)		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	地域実践演習		1		3 年 次	㊦
	インターンシップ		2		3 年 次	㊦
	外書講読演習Ⅱ	1			4年・前期	
	知的財産権		2		4年・前期	
	プレゼンテーション技法	1			4 年 次	注3
	技術文書作成法	1			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4 年 次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4 年 次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習及びプログラミングⅡ演習の全単位を含む66単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

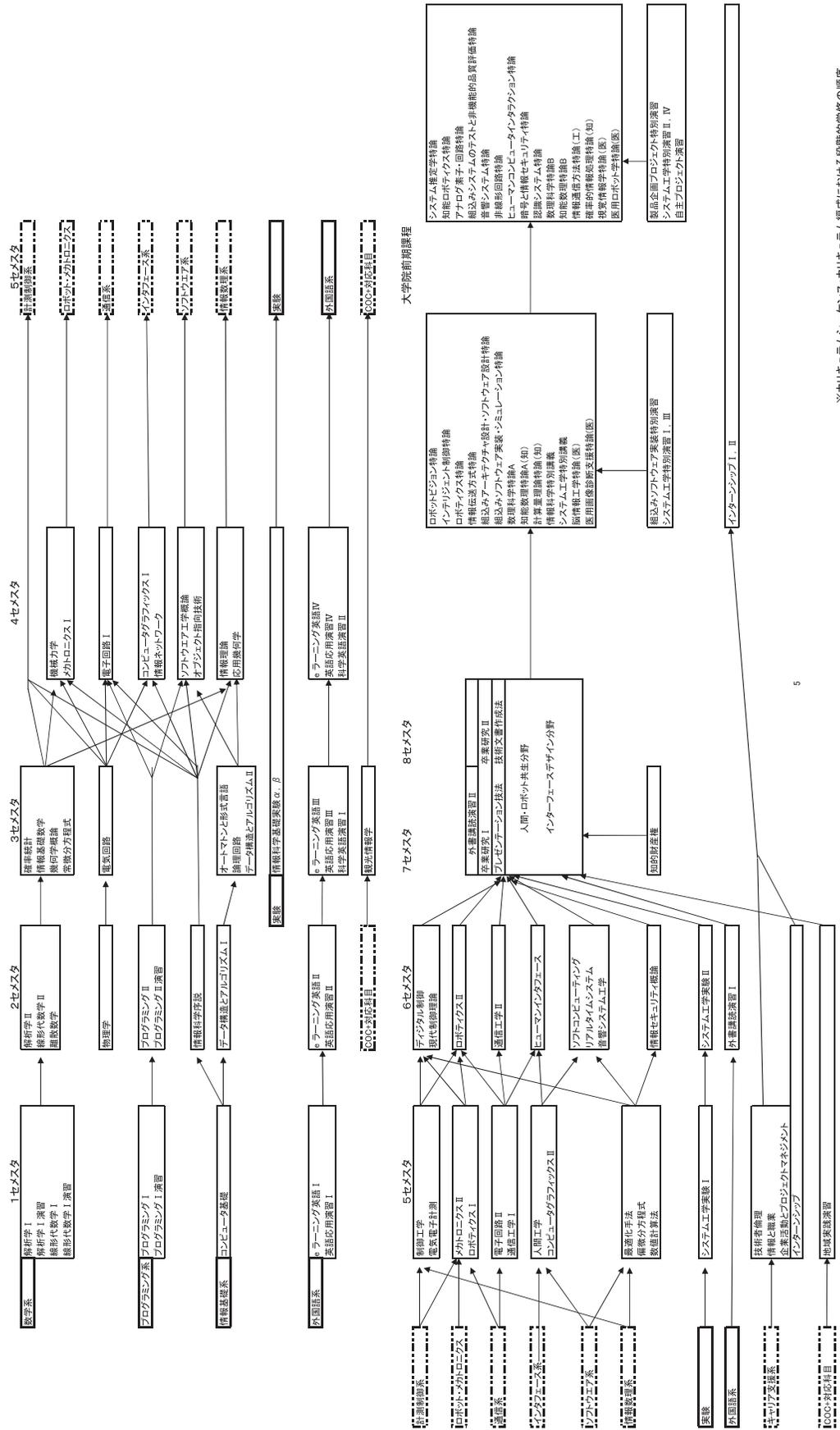
広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次のア及びイの両方を満たす者。
 - ア 3年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目の全単位を含む110単位以上を修得していること。
 - イ 入学後に受験したTOEIC® L&Rテスト又はTOEIC® L&R IPテストにおいて350点以上のスコアを取得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にも履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

システム工学科・専攻カリキュラムシームーケンス



※カリキュラムシームーケンス・カリキュラム編成における段階的学修の順序

情報科学部 医用情報科学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	化学		2		2年・前期	
	医用情報科学概論		2		2年・前期	
	観光情報学		2		2年・前期	Ⓓ
	プログラミングⅢ		2		2年・後期	
	医用プログラミング		2		2年・第3ターム(後期)	
	医科学概論		2		2年・前期	
	情報ネットワーク		2		2年・後期	
	力学		2		2年・後期	
	幾何光学・波動		2		2年・後期	
	電気磁気学		2		2年・後期	
	アナログ信号処理		2		2年・後期	
	生物学		2		2年・後期	
	外書講読演習Ⅰ		1		3年・前期	
	医用情報科学実験Ⅰ		3		3年・前期	
	企業活動とプロジェクトマネジメント		2		3年・前期	
	情報と職業		2		3年・前期	
	技術者倫理		2		3年・前期	
	医用データサイエンス		2		3年・第1ターム(前期)	
	医用情報科学のための病院実習		1		3年・前期	
	デジタル信号処理		2		3年・前期	
	機械工学		2		3年・前期	
	量子・統計力学		2		3年・前期	
	制御工学		2		3年・前期	
	電気電子計測		2		3年・前期	
	分子生物学		2		3年・前期	
	医用生体画像計測		2		3年・前期	
	外書講読演習Ⅱ		1		3年・後期	
	医用情報科学実験Ⅱ		3		3年・後期	
	生物工学		2		3年・後期	
	バイオインフォマティクス		2		3年・後期	
	医用画像処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	医用ロボット工学		2		3年・後期	
	バイオメカニクス		2		3年・後期	
	生体情報工学		2		3年・後期	
	医用情報ネットワーク		2		3年・後期	
	地域実践演習		1		3年次	Ⓓ
	インターンシップ		2		3年次	Ⓓ

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	知的財産権		2		4年・前期	
	プレゼンテーション技法	1			4年次	注3
	技術文書作成法	1			4年次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4年次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4年次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習及びプログラミングⅡ演習の全単位を含む66単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

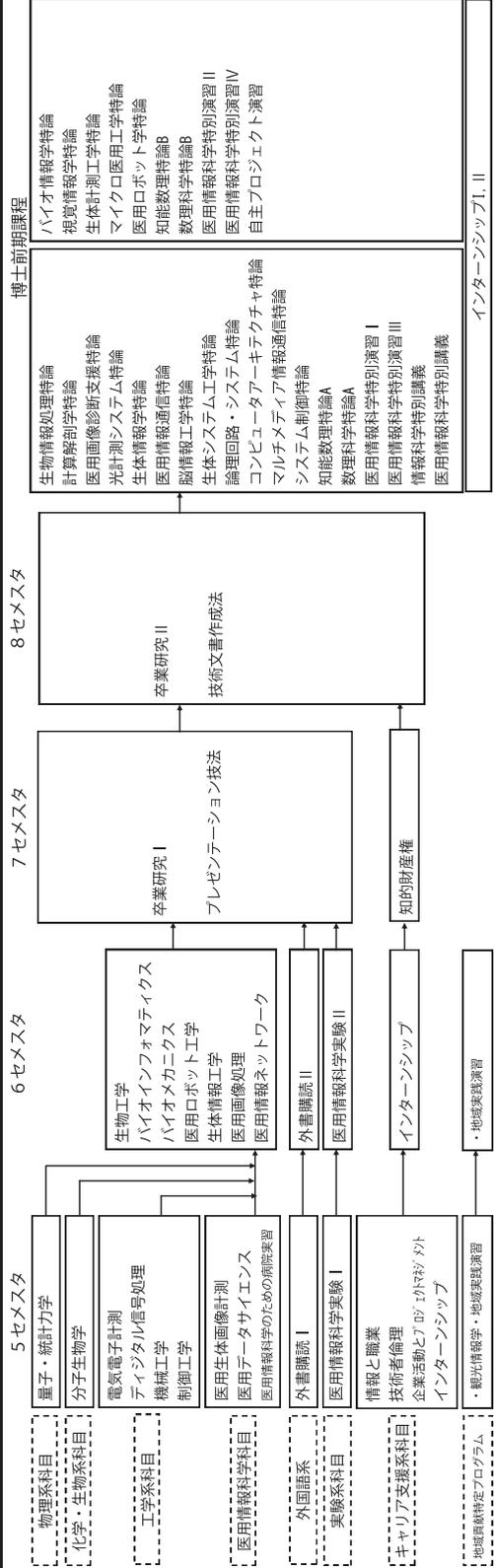
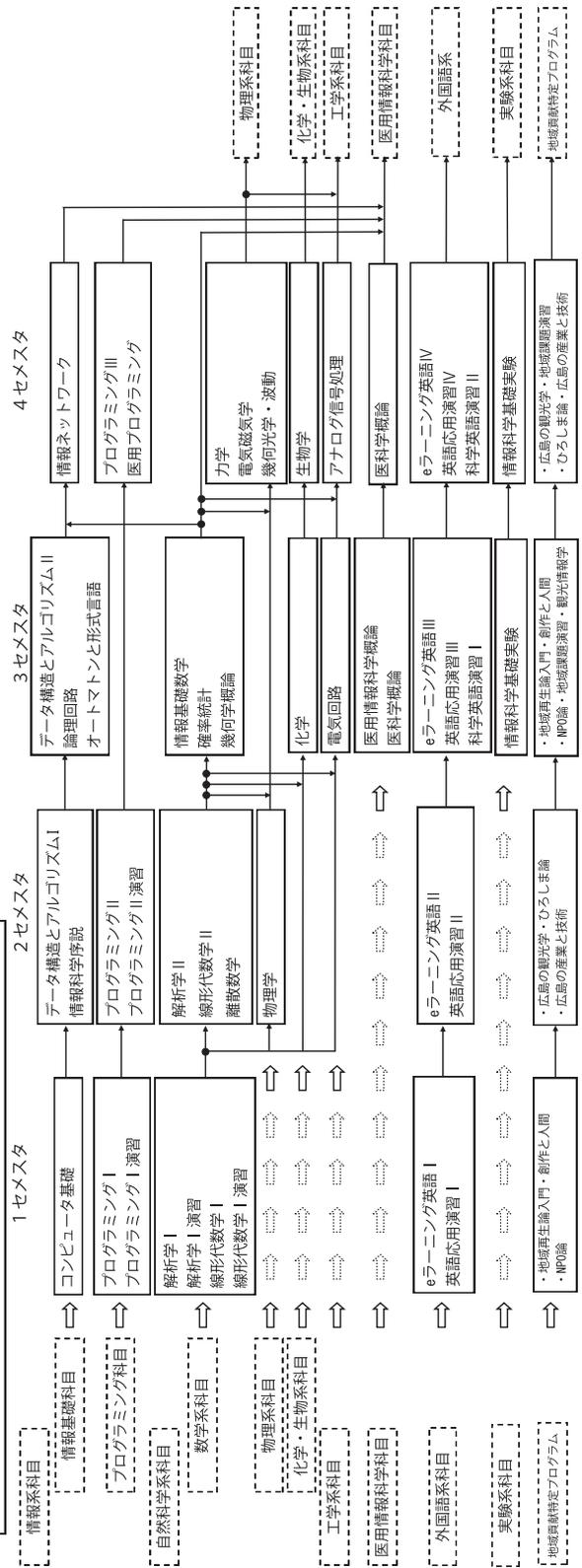
- (1) 次のア及びイの両方を満たす者。
 - ア 3年次末において、卒業の要件となる129単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目の全単位を含む110単位以上を修得していること。
 - イ 入学後に受験したTOEIC® L&Rテスト又はTOEIC® L&R IPテストにおいて350点以上のスコアを取得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

※カリキュラムシークエンス：カリキュラム編成における段階的学修の順序

医用情報科学科・専攻カリキュラムシークエンス



芸術学部 美術学科、デザイン工芸学科共通

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	現代美術演習Ⅰ		2		1年次	
	デザイン概論		2		1年・前期	注2
	工芸概論		2		1年・前期	注2
	油彩画材料論		2		1年・前期	
	美術解剖学Ⅰ		2		1年・前期	注1
	美術解剖学Ⅱ		2		1年・後期	注1
	油絵入門		2		1年・第3ターム(後期)	
	日本画入門		2		1年・第3ターム(後期)	
	色彩論		2		1年・後期	注2
	図法及び製図		2		2年・後期	注2
	材料技法演習(木工)		1		2年・第3ターム(後期)	
	材料技法演習(塗装)		1		2年・第4ターム(後期)	
	現代美術演習Ⅱ		2		2年次	
	芸術工学		2		2年・前期	
	工芸材料概説		2		2年・前期	
	写真(映像)概論		2		2年・前期	
	西洋美術史Ⅰ		2		2年・前期	
	現代美術史Ⅰ		2		2年・前期	
	西洋美術史Ⅱ		2		2年・後期	
	現代美術史Ⅱ		2		2年・後期	
	版面制作演習		2		2年・後期	
	絵画論		2		2年・後期	
	アートマネジメント概論		2		2年・後期	Ⓓ
	文化財学研究		2		3年・前期	
	彫刻概論		2		3年・前期	注3
	美学Ⅰ		2		3年・前期	
	日本美術史Ⅰ		2		3年・前期	
	東洋美術史Ⅰ		2		3年・前期	
	美学Ⅱ		2		3年・後期	
	日本美術史Ⅱ		2		3年・後期	
	東洋美術史Ⅱ		2		3年・後期	
	現代美術論		2		3年・後期	
	造形応用研究Ⅰ		2		1～4年次	Ⓓ
	造形応用研究Ⅱ		2		2～4年次	Ⓓ
	地域実践演習		1		3年次	Ⓓ
	芸術と知的財産権		1		3年・前期	
	専門演習Ⅰ			3	1～4年次	注4

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
	専門演習Ⅱ			3	1～4年次	注4
	専門演習Ⅲ			3	1～4年次	注4
	専門演習Ⅳ			3	1～4年次	注4

注1 「美術解剖学Ⅰ」「美術解剖学Ⅱ」は、美術学科彫刻専攻の学生は履修することが望ましい。

2 「デザイン概論」「工芸概論」「色彩論」「図法及び製図」は選択科目ではあるが、デザイン工芸学科の学生は履修することが望ましい。

3 美術学科彫刻専攻の学生は、この科目ではなく、専門科目の「彫刻論（古典研究を含む。）」（必修）を履修すること。

4 特別聴講学生（交換留学生）対象科目です。

芸術学部 美術学科 日本画専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A (演習)		2		2年・前期	
専門科目	日本画実習ⅠA	4			1年・前期	
	日本画実習ⅠB	4			1年・後期	
	材料実習Ⅰ	2			1年・前期	
	デッサン実習Ⅰ	2			1年・後期	
	構成演習Ⅰ (平面)	2			1年・後期	
	日本画実習ⅡA	6			2年・前期	
	日本画実習ⅡB	4			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・前期	
	構成演習Ⅱ (平面)	1			2年・後期	
	材料実習Ⅱ (金属材料)	2			2年・後期	
	彫塑演習	2			2年・後期	
	日本画実習ⅢA	6			3年・前期	
	日本画実習ⅢB	4			3年・後期	
	古美術研究 (演習)	6			3年次	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・後期	
	材料実習Ⅲ	2			3年・前期	
	構成実習 (平面)	2			3年・後期	
	日本画実習Ⅳ	10			4年次	
	絵画論演習	2			4年・前期	
	技法演習 (裏打技法)	2			4年・後期	
卒業制作 (演習)	9			4年・後期		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次に掲げる条件を満たす者。
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

芸術学部 美術学科 油絵専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A（演習）		2		2年・前期	
専門科目	油絵基礎演習	2			1年・前期	
	デッサン実習Ⅰ	4			1年・前期	
	構成演習Ⅰ	2			1年・前期	
	油絵実習Ⅰ	4			1年・後期	
	彫塑演習	2			1年・後期	
	版画制作実習Ⅰ	2			1年・後期	
	油絵実習ⅡA	5			2年・前期	
	版画制作実習Ⅱ	3			2年・前期	
	学外演習	2			2年・後期	
	油絵実習ⅡB	2			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・後期	
	構成演習Ⅱ	2			2年・後期	
	油絵材料・技法演習（古典技法）	2			2年・後期	
	古美術研究（演習）	6			3年次	
	構成演習Ⅲ	2			3年・前期	
	油絵実習ⅢA	6			3年・前期	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・後期	
	油絵実習ⅢB	6			3年・後期	
	油絵実習ⅣA	6			4年・前期	
	卒業制作A（演習）	4			4年・前期	
油絵実習ⅣB	6			4年・後期		
卒業制作B（演習）	4			4年・後期		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする

- (1) 次に掲げる条件を満たす者。
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

芸術学部 美術学科 彫刻専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A (演習)		2		2年・前期	
専門科目	彫刻実習Ⅰ	8			1年次	
	デッサン実習Ⅰ	2			1年次	
	構成演習Ⅰ	2			1年・前期	
	実材制作基礎演習 (工芸制作を含む。)	4			1年・後期	
	彫刻実習ⅡA	6			2年・前期	
	彫刻実習ⅡB	4			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・後期	
	実材制作実習Ⅰ	2			2年・前期	
	構成実習Ⅱ (平面・立体)	2			2年・後期	
	彫刻実習ⅢA	6			3年・前期	
	彫刻実習ⅢB	4			3年・後期	
	古美術研究 (演習)	6			3年次	
	実材制作実習Ⅱ	2			3年・後期	
	彫刻論 (古典研究を含む。)	2			3年・前期	
	構成実習Ⅲ (立体)	2			3年・後期	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・前期	
	彫刻実習Ⅳ	10			4年次	
卒業制作	10			4年次		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする

- (1) 次に掲げる条件を満たす者。
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること。
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

芸術学部 デザイン工芸学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作 B (演習)		2		2年・前期	
専門科目	造形実習 I A	4			1年・前期	
	描出演習 I	2			1年・後期	
	造形実習 I B	4			1年・後期	
	形体演習 I	2			1年・前期	
	総合表現研究 (演習)	2			2 年 次	
	造形実習 II A	6			2年・前期	
	形体演習 II	2			2年・前期	
	造形実習 II B	6			2年・後期	
	描出演習 II	2			2年・後期	
	古美術研究 (演習)	4			3 年 次	
	テーマ研究 (演習)	6			3 年 次	
	造形実習 III A	6			3年・前期	
	造形実習 III B	6			3年・後期	
	造形研究 (演習)	12			4年・前期	
	卒業制作 (演習)	12			4年・後期	

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第 8 条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、デザイン工芸学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする

(1) 次に掲げる条件を満たす者。

卒業の要件となる 128 単位のうち、90 単位以上を修得していること。

(2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者。

教育職員免許状受領資格取得関係科目表

教育職員免許状を取得するためには、以下に記載する「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」から「合計59単位以上」修得するとともに、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を修得する必要があります。（中学校教諭一種免許状にあつては、「介護等体験」も必要です。）【128ページ参照】

1. 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 国際学部 国際学科

免許種：中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		中一種免	高一種免	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目名	単位数			
教科に関する専門的事項	英語学	中一種免 28単位 高一種免 24単位	英語学概論Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示。 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。（卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表（37ページから68ページ）を参照すること。） ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			英語学概論Ⅱ	2	○	○	
			英文法論	2	●	●	
	英語文学		英米文学概論Ⅰ	2	○	○	
			英米文学概論Ⅱ	2	○	○	
			Special Lecture in British and American LiteratureⅠ	2	●	●	
	英語コミュニケーション		Special Lecture in British and American LiteratureⅡ	2	●	●	
			Communication in EnglishⅠ	1	○	○	
			Communication in EnglishⅡ	1	○	○	
			英語聴解法	2	●	●	
			英文構成法Ⅰ	2	●	●	
			英文構成法Ⅱ	2	●	●	
			時事英語	2	●	●	
			英語読解法Ⅰ	2	●	●	
			英語読解法Ⅱ	2	●	●	
			英文作法Ⅰ	2	●	●	
			英文作法Ⅱ	2	●	●	
			英語討論技法Ⅰ	2	●	●	
			英語討論技法Ⅱ	2	●	●	
			翻訳論Ⅰ	2	●	●	
	翻訳論Ⅱ		2	●	●		
	異文化理解		イギリス文化論Ⅰ	2	○	○	
			イギリス文化論Ⅱ	2	○	○	
			American CultureⅠ	2	○	○	
American CultureⅡ		2	○	○			
コミュニケーション技法論Ⅰ		2	●	●			
コミュニケーション技法論Ⅱ		2	●	●			
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	アメリカ教育論	2	●	●			
	教科教育法（英語）AⅠ	2	○	●			
	教科教育法（英語）AⅡ	2	○	●			
	教科教育法（英語）BⅠ	2	○	○			
	教科教育法（英語）BⅡ	2	○	○			

(2) 情報科学部 情報工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学Ⅰ	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。)
			線形代数学Ⅱ	2	○	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
	解 析 学		解析学Ⅰ	2	○	
			解析学Ⅱ	2	○	
			常微分方程式(注1)	2	●	
	「確率論、統計学」		情報基礎数学	2	●	
			確率統計	2	○	
	コンピュ ータ		情報理論	2	●	
			オートマトンと形式言語	2	●	
			データ構造とアルゴリズムⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ演習	1	○	
			コンピュータアーキテクチャⅠ	2	●	
			コンピュータアーキテクチャⅡ	2	●	
			論理回路	2	●	
			論理設計	2	●	
論理設計演習		1	●			
グラフと最適化	2	●				
各教科の指 導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	教科教育法(数学)Ⅰ	2	○			
	教科教育法(数学)Ⅱ	2	○			

(注1) システム工学科開設科目

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・選択の別	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目名	単位数		
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 （卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表（37ページから68ページ）を参照すること。） ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			知的財産権	2	○	
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）		コンピュータ基礎	2	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			プログラミングⅢ	2	●	
			プログラミングⅢ演習	1	●	
			集積回路	2	●	
			情報科学基礎実験β	3	○	
			システムLSI設計	2	●	
			ソフトウェア工学	2	●	
	コンパイラ		2	●		
	情報システム（実習を含む。）		データベース	2	○	
			オペレーティングシステム	2	○	
			インターンシップ	2	●	
			情報ネットワーク	2	○	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）		通信方式	2	●	
			ネットワーク設計	2	●	
			ネットワーク設計演習	1	●	
			ワイヤレスネットワーク	2	●	
			プロトコル設計	2	●	
			ネットワークプロトコル	2	●	
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	コンピュータグラフィックスⅠ（注2）	2	○			
	画像情報処理（注2）	2	○			
	デジタル信号処理	2	●			
	マルチメディア通信	2	●			
情報と職業	情報と職業	2	○			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○		
教科教育法（情報）Ⅱ		2	○			

(注1) 全学共通系科目

(注2) 知能工学科開設科目

(3) 情報科学部 知能工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学Ⅰ	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。)
			線形代数学Ⅱ	2	○	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
			グラフ理論概論	2	●	
			パターン認識	2	●	
	解 析 学		解析学Ⅰ	2	○	
			解析学Ⅱ	2	○	
			常微分方程式(注1)	2	●	
			情報基礎数学	2	●	
	[確率論、統計学]		数値解析	2	●	
			確率統計	2	○	
			情報理論	2	●	
			コ ン ピ ュ ー タ	オートマトンと形式言語	2	
	データ構造とアルゴリズムⅠ			2	○	
	プログラミングⅠ			2	○	
	プログラミングⅠ演習			1	○	
	論理回路			2	●	
	数理論理学			2	●	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	計算論	2	●			
	教科教育法(数学)Ⅰ	2	○			
	教科教育法(数学)Ⅱ	2	○			

(注1) システム工学科開設科目

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	情報社会・ 情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 （卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表（37ページか ら68ページ）を 参照すること。） ※最低修得単位 数を超えて修得 した単位は、「大 学が独自に設定 する科目」の単 位数に算入する ことができる。
	コンピュータ・ 情報処理 （実習を含む。）		知的財産権	2	○	
			コンピュータ基礎	2	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			プログラミングⅢ	2	●	
			プログラミングⅢ演習	1	●	
			情報科学基礎実験β	3	○	
			コンパイラ	2	●	
			記号処理プログラミング	2	●	
	ソフトウェア工学概説		2	●		
	情報システム （実習を含む。）		データベース	2	○	
			オペレーティングシステム	2	○	
			情報検索	2	●	
			人工知能	2	●	
	情報通信 ネットワーク （実習を含む。）		インターシップ	2	●	
			情報ネットワーク	2	○	
	マルチメディア 表現・マルチ メディア技術 （実習を含む。）		情報セキュリティ	2	●	
			コンピュータグラフィックスⅠ	2	○	
画像情報処理		2	○			
デジタル信号処理		2	●			
情報と職業	コンピュータグラフィックスⅡ	2	●			
	情報と職業	2	○			
各教科の指導法 （情報機器及び 教材の活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

（注1） 全学共通系科目

(4) 情報科学部 システム工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学Ⅰ	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。)
			線形代数学Ⅱ	2	○	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
			応用幾何学	2	●	
	解 析 学		音響システム工学	2	●	
			解析学Ⅰ	2	○	
			解析学Ⅱ	2	○	
			常微分方程式	2	●	
			情報基礎数学	2	●	
	「確率論、統計学」		数値計算法	2	●	
			確率統計	2	○	
	コンピュ ータ		情報理論	2	●	
			オートマトンと形式言語	2	●	
			データ構造とアルゴリズムⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ	2	○	
プログラミングⅠ演習		1	○			
論理回路		2	●			
各教科の指 導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	教科教育法(数学)Ⅰ	2	○			
	教科教育法(数学)Ⅱ	2	○			

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	情報社会・ 情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 （卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表（37ページか ら68ページ）を 参照すること。） ※最低修得単位 数を超えて修得 した単位は、「大 学が独自に設定 する科目」の単 位数に算入する ことができる。
	コンピュータ・ 情報処理 （実習を含む。）		知的財産権	2	○	
			コンピュータ基礎	2	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			情報科学基礎実験β	3	○	
			電子回路Ⅰ	2	●	
			電子回路Ⅱ	3	●	
			制御工学	2	●	
			ソフトコンピューティング	2	●	
	ソフトウェア工学概論		2	●		
	情報システム （実習を含む。）		データベース（注2）	2	○	
			オペレーティングシステム（注3）	2	○	
			ヒューマンインタフェース	2	●	
			オブジェクト指向技術	2	●	
	情報通信 ネットワーク （実習を含む。）		インターンシップ	2	●	
			情報ネットワーク	2	○	
			情報セキュリティ概論	2	●	
			通信工学Ⅰ	2	●	
	マルチメディア 表現・マルチ メディア技術 （実習を含む。）		通信工学Ⅱ	2	●	
			コンピュータグラフィックスⅠ	2	○	
			画像情報処理（注2）	2	○	
情報と職業	コンピュータグラフィックスⅡ	2	●			
	情報と職業	2	○			
各教科の指導法 （情報機器及び 教材の活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

(注1) 全学共通系科目

(注2) 知能工学科開設科目

(注3) 情報工学科開設科目

(5) 情報科学部 医用情報科学科
免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	情報社会・ 情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 （卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表（37ページか ら68ページ）を 参照すること。） ※最低修得単位 数を超えて修得 した単位は、「大 学が独自に設定 する科目」の単 位数に算入する ことができる。
			知的財産権	2	○	
	コンピュータ・ 情報処理 （実習を含む。）		コンピュータ基礎	2	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			電気電子計測	2	●	
			情報科学基礎実験β	3	○	
			デジタル信号処理	2	●	
	情報システム （実習を含む。）		データベース（注2）	2	○	
			オペレーティングシステム（注3）	2	○	
	情報通信 ネットワーク （実習を含む。）		情報ネットワーク	2	○	
			情報セキュリティ（注2）	2	●	
			ワイヤレスネットワーク（注3）	2	●	
マルチメディア 表現・マルチ メディア技術 （実習を含む。）	医用画像情報処理	2	○			
	情報と職業	2	○			
各教科の指導法 （情報機器及び 教材の活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

(注1) 全学共通系科目

(注2) 知能工学科開設科目

(注3) 情報工学科開設科目

(6) 芸術学部 美術学科 日本画専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	中一種免 28単位	日本画実習ⅠA	4	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示。 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(37ページから68ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			日本画実習ⅠB	4	○	○	
			日本画実習ⅡA	6	○	○	
			日本画実習ⅡB	4	○	○	
			日本画実習ⅢA	6	○	○	
			日本画実習ⅢB	4	○	○	
			日本画実習Ⅳ	10	○	○	
			デッサン実習Ⅰ	2	○	○	
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○	
			デッサン実習Ⅲ	2	○	○	
			材料実習Ⅰ	2	○	○	
			材料実習Ⅱ(金属材料)	2	○	○	
			材料実習Ⅲ	2	○	○	
			絵画論演習	2	○	○	
	技法演習(裏打技法)	2	○	○			
	彫 刻	中一種免 28単位	彫塑演習	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)		構成演習Ⅰ(平面)	2	○	○	
			構成演習Ⅱ(平面)	1	○	○	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	高一種免 24単位	構成実習(平面)	2	○	○	
			美学Ⅰ	2	○	○	
		美学Ⅱ	2	○	○		
		日本美術史Ⅰ	2	○	○		
		日本美術史Ⅱ	2	○	○		
		東洋美術史Ⅰ	2	○	○		
		東洋美術史Ⅱ	2	○	○		
		西洋美術史Ⅰ	2	○	○		
西洋美術史Ⅱ		2	○	○			
美術解剖学Ⅰ		2	●	●			
美術解剖学Ⅱ	2	●	●				
工 芸	材料技法演習(木工)	1	●	○			
	材料技法演習(塗装)	1	●	○			
	工芸制作A(演習)	2	○	○			
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●		
教科教育法(美術)AⅡ		2	○	●			
教科教育法(美術)BⅠ		2	○	○			
教科教育法(美術)BⅡ		2	○	○			

(7) 芸術学部 美術学科 油絵専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	中一種免 28単位	油絵基礎演習	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示。 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。(卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(37ページから68ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			油絵実習Ⅰ	4	○	○	
			油絵実習ⅡA	5	○	○	
			油絵実習ⅡB	2	○	○	
			油絵実習ⅢA	6	○	○	
			油絵実習ⅢB	6	○	○	
			油絵実習ⅣA	6	○	○	
			油絵実習ⅣB	6	○	○	
			デッサン実習Ⅰ	4	○	○	
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○	
	デッサン実習Ⅲ	2	○	○			
	版画制作実習Ⅰ	2	○	○			
	版画制作実習Ⅱ	3	○	○			
	彫 刻	中一種免 28単位	彫塑演習	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)		構成演習Ⅰ	2	○	○	
			構成演習Ⅱ	2	○	○	
		構成実習Ⅲ	2	○	○		
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	高一種免 24単位	美学Ⅰ	2	○	○	
			美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
日本美術史Ⅱ			2	○	○		
東洋美術史Ⅰ			2	○	○		
東洋美術史Ⅱ			2	○	○		
西洋美術史Ⅰ			2	○	○		
西洋美術史Ⅱ			2	○	○		
工 芸	高一種免 24単位	美術解剖学Ⅰ	2	●	●		
		美術解剖学Ⅱ	2	●	●		
		材料技法演習(木工)	1	●	○		
		材料技法演習(塗装)	1	●	○		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	中一種免 28単位	工芸制作A(演習)	2	○	○		
		教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●		
		教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●		
		教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○		
		教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○		

(8) 芸術学部 美術学科 彫刻専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に 関する 専門的 事項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	中一種免 28単位 高一種免 24単位	デッサン実習Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一 種免許状を「中 一種免」、高等学 校教諭一種免許 状を「高一種免」 で表示。 ※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。) ※最低修得単位 数を超過して修得 した単位は、「大 学が独自に設定 する科目」の単 位数に算入する ことができる。
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○	
			デッサン実習Ⅲ	2	○	○	
	彫 刻		彫刻実習Ⅰ	8	○	○	
			彫刻実習ⅡA	6	○	○	
			彫刻実習ⅡB	4	○	○	
			彫刻実習ⅢA	6	○	○	
			彫刻実習ⅢB	4	○	○	
			彫刻実習Ⅳ	10	○	○	
			彫刻論(古典研究を含む。)	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア 表現を含む。)		構成演習Ⅰ	2	○	○	
			構成実習Ⅱ(平面・立体)	2	○	○	
			構成実習Ⅲ(立体)	2	○	○	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジ アの美術を含む。)		美学Ⅰ	2	○	○	
			美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	○	
西洋美術史Ⅱ		2	○	○			
工 芸	美術解剖学Ⅰ	2	●	●			
	美術解剖学Ⅱ	2	●	●			
	実材制作基礎演習(工芸制作を含む。)	4	○	△			
	実材制作実習Ⅰ	2	○	△			
	実材制作実習Ⅱ	2	○	△			
	材料技法演習(木工)	1	●	△			
	材料技法演習(塗装)	1	●	△			
工芸制作A(演習)	2	●	△				
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●			
	教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●			
	教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○			
	教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○			

(9) 芸術学部 デザイン工芸学科

①免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に 関する 専門 的事 項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	中一種免 28単位 高一種免 24単位	描出演習Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一 種免許状を「中 一種免」、高等学 校教諭一種免許 状を「高一種免」 で表示。 ※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。) ※最低修得単 位を超えて修得 した単位は、「大 学が独自に設定 する科目」の単 位数に算入す ることができる。
			描出演習Ⅱ	2	○	○	
	彫 刻		形体演習Ⅰ	2	○	○	
			形体演習Ⅱ	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア 表現を含む。)		造形実習ⅠA	4	○	○	
			造形実習ⅠB	4	○	○	
			造形実習ⅢB	6	○	○	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジ アの美術を含む。)		美学Ⅰ	2	○	○	
			美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			美術解剖学Ⅰ	2	●	●	
			美術解剖学Ⅱ	2	●	●	
	工 芸		造形実習ⅡA	6	○	△	
			造形実習ⅡB	6	○	△	
			造形実習ⅢA	6	○	△	
造形研究(演習)		12	○	△			
材料技法演習(木工)		1	●	△			
材料技法演習(塗装)		1	●	△			
工芸制作B(演習)		2	●	△			
教科教育法(美術)AⅠ		2	○	●			
教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●				
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○			
	教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○			

②免許種：高等学校教諭一種免許状（工芸）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	図 法・ 製 図	24単位	図法及び製図	2	○	※免許取得にお ける必修科目を 「○」、選択科目 を「●」で表示。 (卒業要件におけ る必修・選択・自 由の区分につい ては、教育課程 表(37ページか ら68ページ)を 参照すること。)
			デ ザ イ ン	造形実習ⅠA	4	
	造形実習ⅠB			4	○	
	造形実習ⅢA			6	○	
	造形実習ⅢB			6	○	
	工 芸 制 作 (プロダクト制作 を含む。)		造形実習ⅡA	6	○	
			造形実習ⅡB	6	○	
			造形研究(演習)	12	○	
			工芸制作B(演習)	2	○	
	工 芸 理 論・ デザイン理論・ 美 術 史 (鑑賞並びに日本の 伝統工芸及びアジ アの工芸を含む。)		工芸概論	2	○	
			デザイン概論	2	○	
			色彩論	2	●	
			現代美術論	2	●	
			工芸材料概説	2	●	
			日本美術史Ⅰ	2	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	
	西洋美術史Ⅱ		2	○		
各 教 科 の 指 導 法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	美術解剖学Ⅰ	2	●			
	美術解剖学Ⅱ	2	●			
	教科教育法(工芸)Ⅰ	2	○			
	教科教育法(工芸)Ⅱ	2	○			

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

全学部・全免許種共通

- ・中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示
- ・免許状取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			中 一 種 免	高 一 種 免
科目	各科目に含める必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数	開設年次 及び学期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10単位	教育原理	2	2年・前期	○	○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	2	1年・後期	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営学	2	3年・前期	○	○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2年・後期	○	○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	3年・前期	○	○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	1	2年・後期	○	○
生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10単位 高一種免 8単位	道徳教育論	2	2年・後期	○	○
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間論	1	3年・後期	○	○
	特別活動の指導法		特別活動論	1	3年・第4ターム(後期)	○	○
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法・技術論	2	2年・後期	○	○
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	2年・前期	○	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談論	2	2年・前後期	○	○
教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5単位	教育実習Ⅰ	3	4年次	○	○
		高一種免 3単位	教育実習Ⅱ	2	4年次	○	●
	教職実践演習	2単位	教職実践演習(中等)A	2	4年次	○	○
			教職実践演習(中等)B	2	4年次		
教職実践演習(中等)C			2	4年次			

※高一種免において、最低修得単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。

※「教育相談論」は、前期は芸術学部、後期は国際学部及び情報科学部の学生を対象に開講する。

※「教育実習」は受講要件あり(128ページ参照)。

※教職実践演習について、国際学部の学生は教職実践演習(中等)Aを、情報科学部の学生は教職実践演習(中等)Bを、芸術学部の学生は教職実践演習(中等)Cを履修すること。

3. 大学が独自に設定する科目

全学部・全免許種共通

- ・中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示
- ・免許状取得における選択科目を「●」で表示（必修科目なし）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目区分	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数	開設年次 及び学期			
大学が独自に 設定する科目	中一種免 4単位	学校インターンシップ	2	2～4年次	●	●	国際学部、芸術学部のみ履修可
		教職特講	2	3年・後期	●	●	
	高一種免 12単位	道徳教育論	2	2年・後期	/	●	

※「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」において、最低修得単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」に算入することができる。

4. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

全学部・全免許種共通

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する 開設授業科目の名称	単 位 数	開設年次 及び学期	備 考	
科目区分	最低修得 単位数					
日本国憲法	2	法学（日本国憲法）	2	1・2年 前後期	前期：国際学部 後期：情報科学部 芸術学部	
体 育	2	健康科学	2	1年・前期	左記の3科目から 2単位以上	
		体育実技Ⅰ	1	1年・前期		
		体育実技Ⅱ	1	1年・後期		
外国語コミュニケーション	2	CALL英語集中Ⅰ	1	1年・前期	国際学部	
		CALL英語集中Ⅱ	1	1年・後期		
		英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期		
		英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期		
		eラーニング英語Ⅰ	1	1年・前期	情報科学部	
		eラーニング英語Ⅱ	1	1年・後期		
		eラーニング英語Ⅲ	1	2年・前期		
		eラーニング英語Ⅳ	1	2年・後期		
		英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期		
		英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期		
		CALL英語集中Ⅰ	1	1年・前期		芸術学部
		CALL英語集中Ⅱ	1	1年・後期		
英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期				
英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期				
情報機器の操作	2	情報活用基礎	2	1年・前期		

学芸員資格取得関係科目表

博物館法に定める必修 選択の別及び科目の名称		本学が開講する 授業科目の名称	単 位 数	開設年次 及び学期	備 考
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1年・後期	3年次末までに単位修得のこと
	博物館教育論	博物館教育論	2	2年・前期	
	博物館資料論	博物館資料論	2	2年・後期	
	博物館概論	博物館概論	2	3年・前期	3年次末までに全て受講し、6単位以上修得すること (ただし成績評価が欠席を原因とした「不可」の場合は、受講したと見なされません。)
	博物館経営論	博物館経営論	2	3年・後期	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3年・後期	
	博物館展示論	博物館展示論	2	3年・後期	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	3年・後期	
	博物館実習	博物館実習 (注2)	3	4年次	上記の条件をすべて満たして履修すること
選択科目A (注1)	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅰ	2	3年・前期	最低修得単位数8単位
	日本美術史Ⅱ	日本美術史Ⅱ	2	3年・後期	
	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅰ	2	3年・前期	
	東洋美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅱ	2	3年・後期	
	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅰ	2	2年・前期	
	西洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅱ	2	2年・後期	
選択科目B (注1)	コンピュータ・アート	コンピュータ・アート	2	2年・後期	最低修得単位数2単位
	工芸概論	工芸概論	2	1年・前期	
	現代美術論	現代美術論	2	3年・後期	
	工芸材料概説	工芸材料概説	2	2年・前期	

(注1) 選択科目の内、「コンピュータ・アート」以外は芸術学部の専門教育科目であるため、国際学部や情報科学部の学生が履修するためには、「他学部履修」の手続きを行う必要があります。

(注2) 4年次における「博物館実習」は、学芸員養成課程の最終段階における科目であり、関係科目で学んだ知識・技術や理論を活かして学修するものです。

したがって、「博物館実習」を履修するためには、3年次末までに上表「必修科目」の「備考」欄に記載した条件を、いずれも満たす必要があります。

課外教育プログラム

本学では、正課の教育プログラムで専門的な知識や技術などを教授するだけでなく、卒業後に社会をリードする人材となる能力を身に付けた学生を育成するため、課外教育プログラムにおいてリーダー人材及びグローバル人材の育成を推進します。

広島市立大学塾

広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、また体験することを通じて、自ら考え、判断し、行動する力を養い、社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーの育成を目指し、課外教育プログラムとして「広島市立大学塾」を開講しています。

広島市立大学塾の概要は次のとおりです。

《定期プログラム》

原則、毎週水曜日6時限（18:00～19:30）に開講

◆ 社会のさまざまな問題について、やさしく、しかし深く、そしてできれば楽しく考える場となることを目指して、塾長、副塾長、さまざまな分野のゲストによる講義・講話や関連図書・映像等の紹介、ディスカッションなどを行います。

《視察体験プログラム》

◆ 定期プログラムでは難しい視察、体験等を長期休業期間などを活用して実施しています。

《塾の期間》

2019年10月から2020年9月末まで（予定）

※広島市立大学塾の詳細や募集内容（2019年5月頃募集開始予定）については、別途お知らせします。

《費用》

費用は原則大学負担です。

<参考>2018年度広島市立大学塾のプログラム内容

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category/0007/c00003517/>

国際学生寮「さくら」での寮教育

2018年4月に大学の国際化及びグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を新設しました。入寮対象者については、市内・市外在住に関わらず、広く募集します。



1 人材育成コンセプト

国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

2 寮教育

国際学生寮は、居住機能に加え、教育的な視点も取り入れた学生寮です。人材育成コンセプトに示す人材育成を実現するため、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施しています。

<参考>各プログラムの内容

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category/0007/c00004420/>

3 施設概要

構造：鉄筋コンクリート造6階建

定員：116人（長期滞在96人、短期滞在20人）

◆ 日本人学生3人・外国人留学生3人を基本に、計6人で1つのユニットを構成して共同生活を行う長期滞在用ユニットのほか、海外学術交流協定大学等からの受け入れなどが可能な短期滞在用ユニット、講演会などに利用可能な多目的室、日本文化の体験交流などに活用できる和室などを整備。

4 学生役職者

寮生が、安心・快適で自律的な寮生活を送ることができるよう、先輩学生として衛生管理等の生活指導や風紀指導等、さまざまな面でリーダーシップを取り、日頃から寮生をサポートする学生役職者を設置しています。

